

# 資料編

第 2 次 本庄市生涯学習推進指針

## 資料1 市民アンケート調査結果

### 1. 調査の概要

#### (1) 調査の目的

本指針を策定するにあたり、市民を対象とする「第2次本庄市生涯学習推進指針策定のためのアンケート調査」を実施した。この調査は、生涯学習に対する市民の意識、要望、課題を把握するとともに、その支援の分野や方向性に必要な基礎資料とすることを目的とする。

#### (2) 調査対象者の抽出

母集団の66,799人（令和4年11月1日現在の18歳以上）に対し、本庄市総合振興計画策定のための市民アンケート調査で用いた信頼率95%と同等の信頼率を得るための必要標本数は、1,051件となる。

また、ミドル世代の生涯学習事業への参加率の低さが課題となっているため、10代～50代の標本数を増やし、全世代において概ね均等の回答数を得られるように調整した結果、3,500人を対象とした。

#### (3) 調査の期間 令和4年12月

#### (4) 調査の方法 郵送によるアンケート調査

発送数：3,500件、回収数：1,194件、回収率：34.1%、信頼率：96%

回収結果については下表のとおり。

年代	送付数	予想回収数	実回収数	
				構成割合 (%)
19歳以下	67	20	13	1.1
20代	400	120	50	4.2
30代	435	130	91	7.6
40代	582	175	163	13.7
50代	578	174	190	15.9
60代	540	162	256	21.4
70代	564	169	281	23.5
80代以上	334	100	147	12.3
年齢不明	0	0	3	0.3

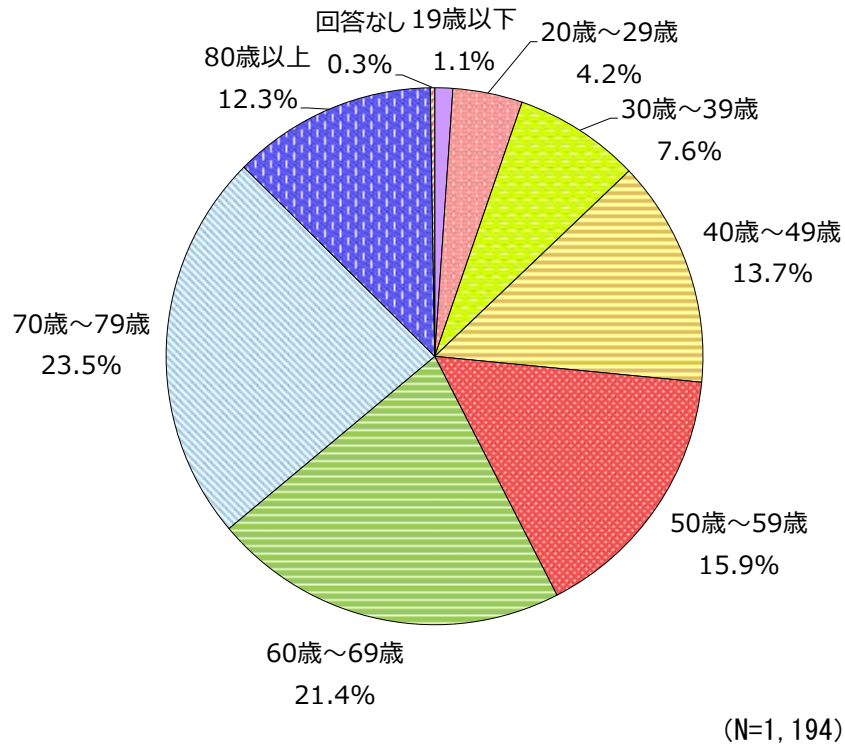
## 2. アンケート調査結果

※調査結果を表示する全ての図において、構成比の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、必ずしも合計値が100%にならない場合がある。

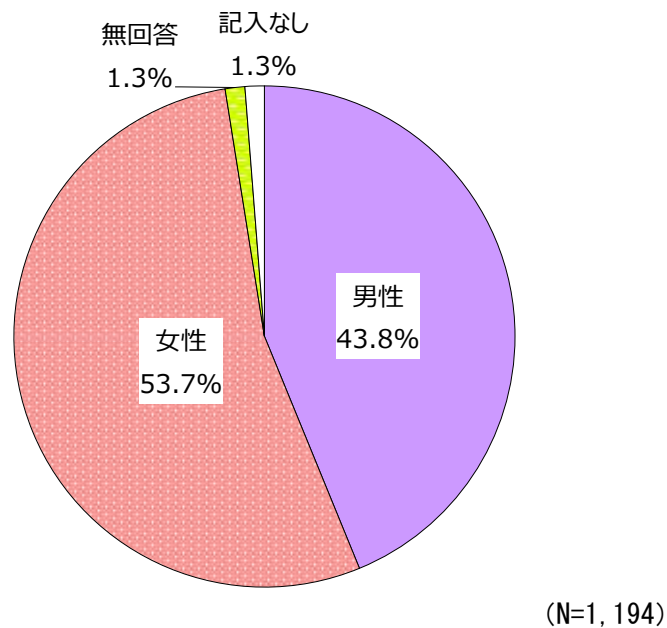
### (1) 回答者の属性について

#### 【問1】年齢についてお答えください。(1つを選択)

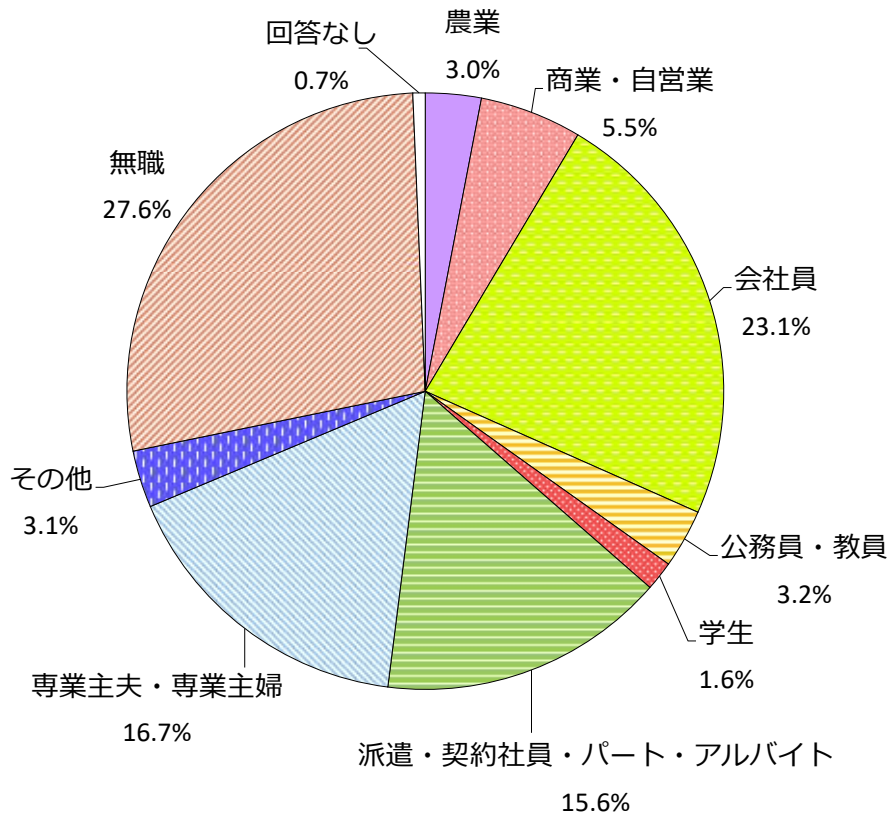
19歳以下・20代・30代は10%以下、60代・70代は20%以上、その他の年代は概ね均等な比率である。



#### 【問2】性別についてお答えください。(1つを選択)

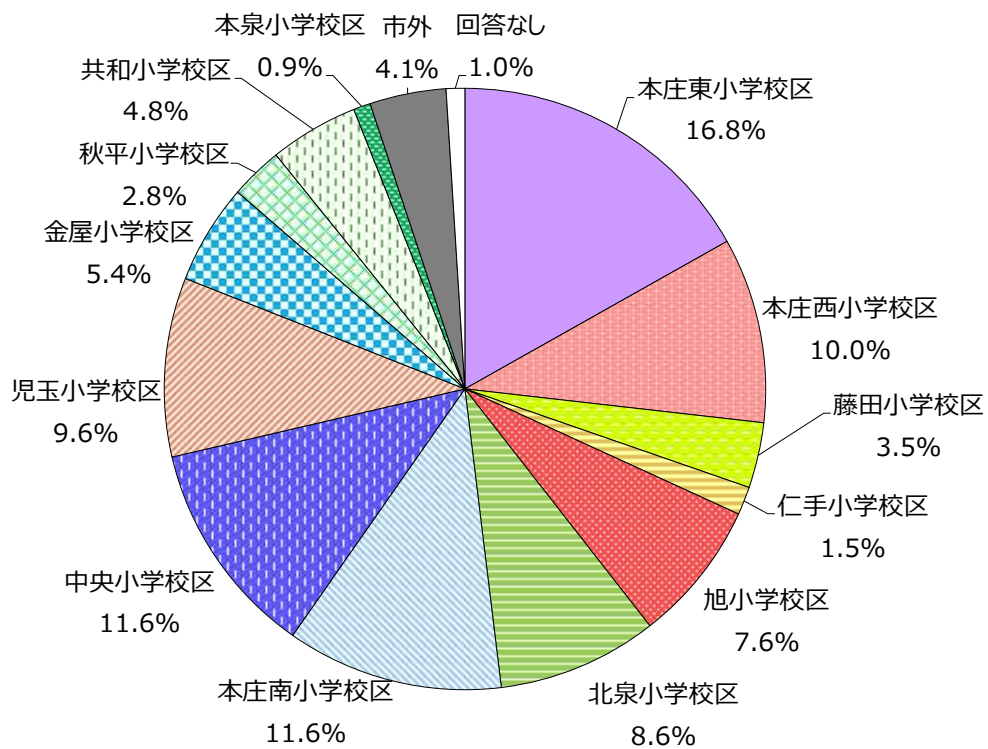


【問3】主な職業についてお答えください。（1つを選択）



(N=1,194)

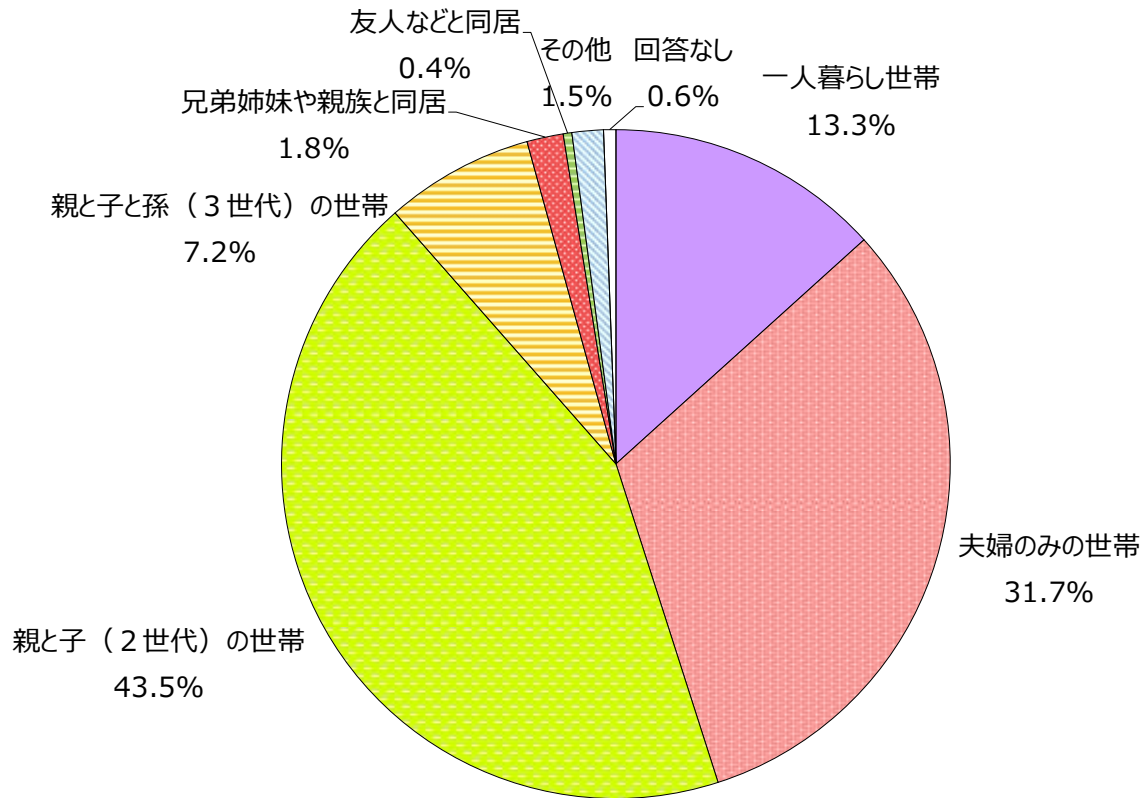
【問4】お住まいの小学校区についてお答えください。（1つを選択）



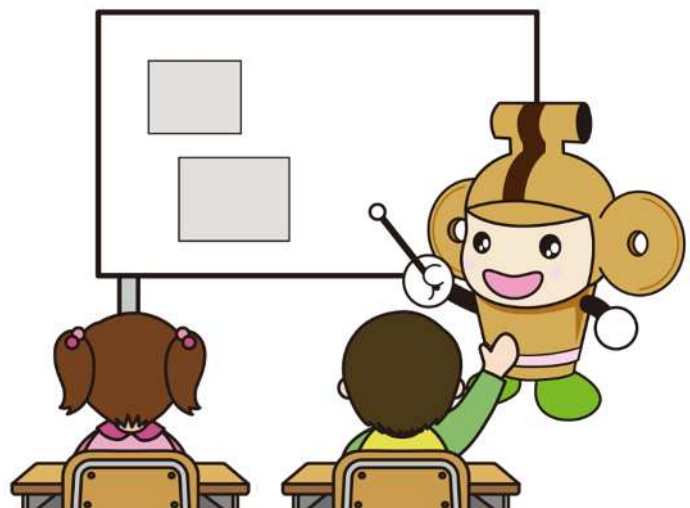
(N=1,194)

**【問5】 家族構成についてお答えください。（1つを選択）**

「親と子（2世代）の世帯」が43.5%とほぼ半数を占め、次いで「夫婦のみの世帯」が31.7%。

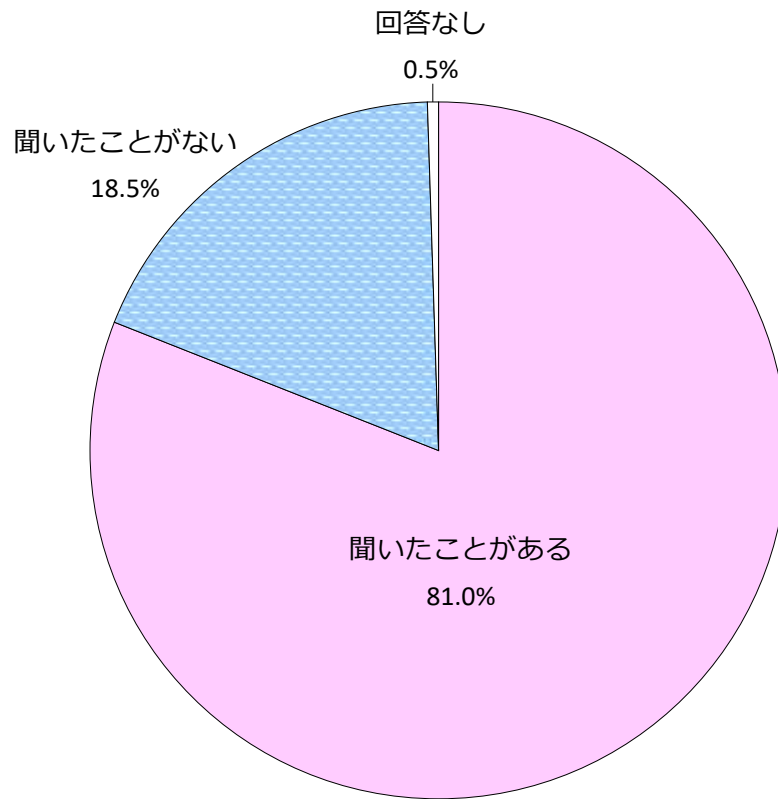


(N=1,194)



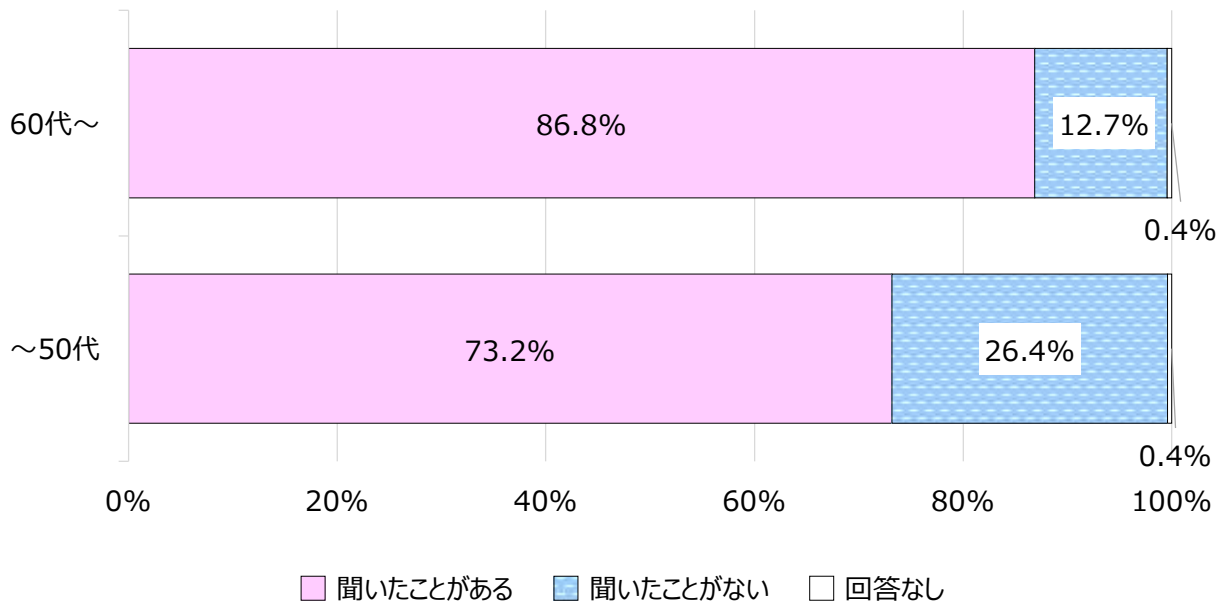
(2) 生涯学習について

【問6】「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。(1つを選択)

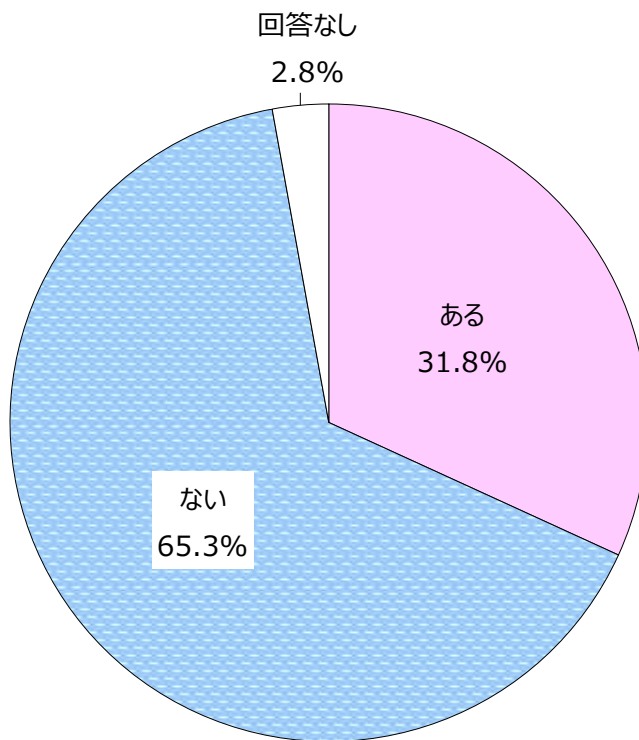


(N=1,194)

[年代グループ別] 60代以上の方が「聞いたことがある」が多い。

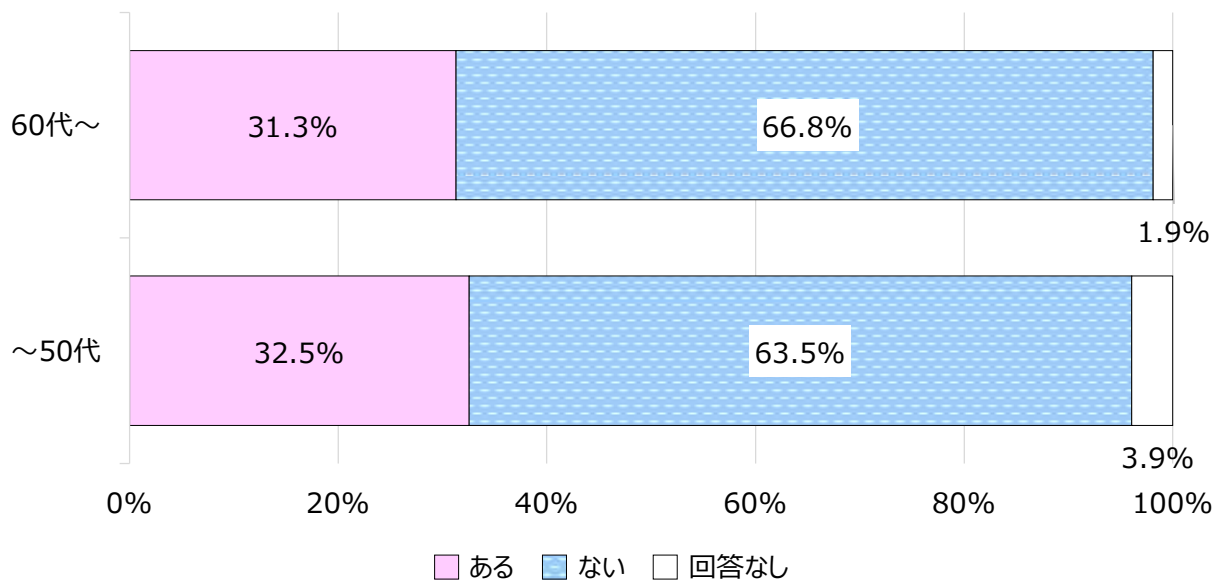


【問7】この1年間、学習の経験がありますか。（1つを選択）



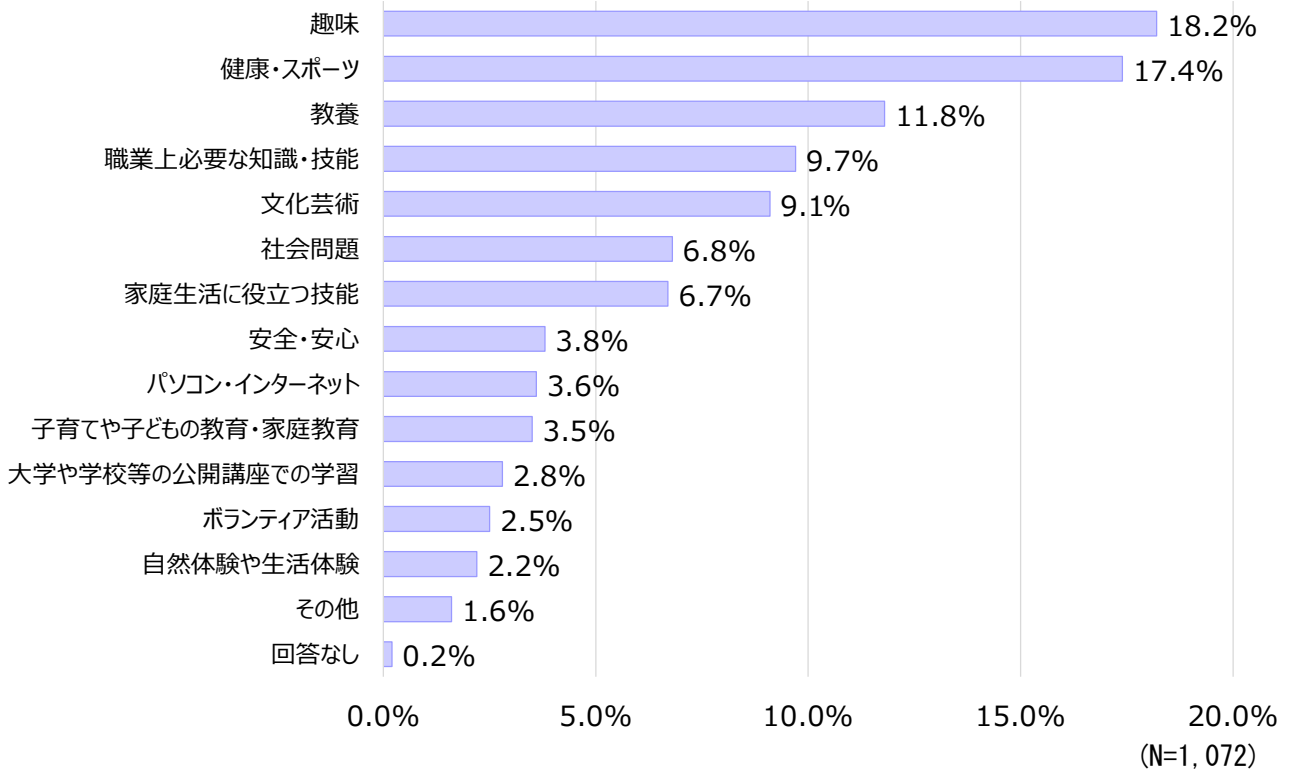
(N=1,194)

[年代グループ別] グループ間で大きな差はない。

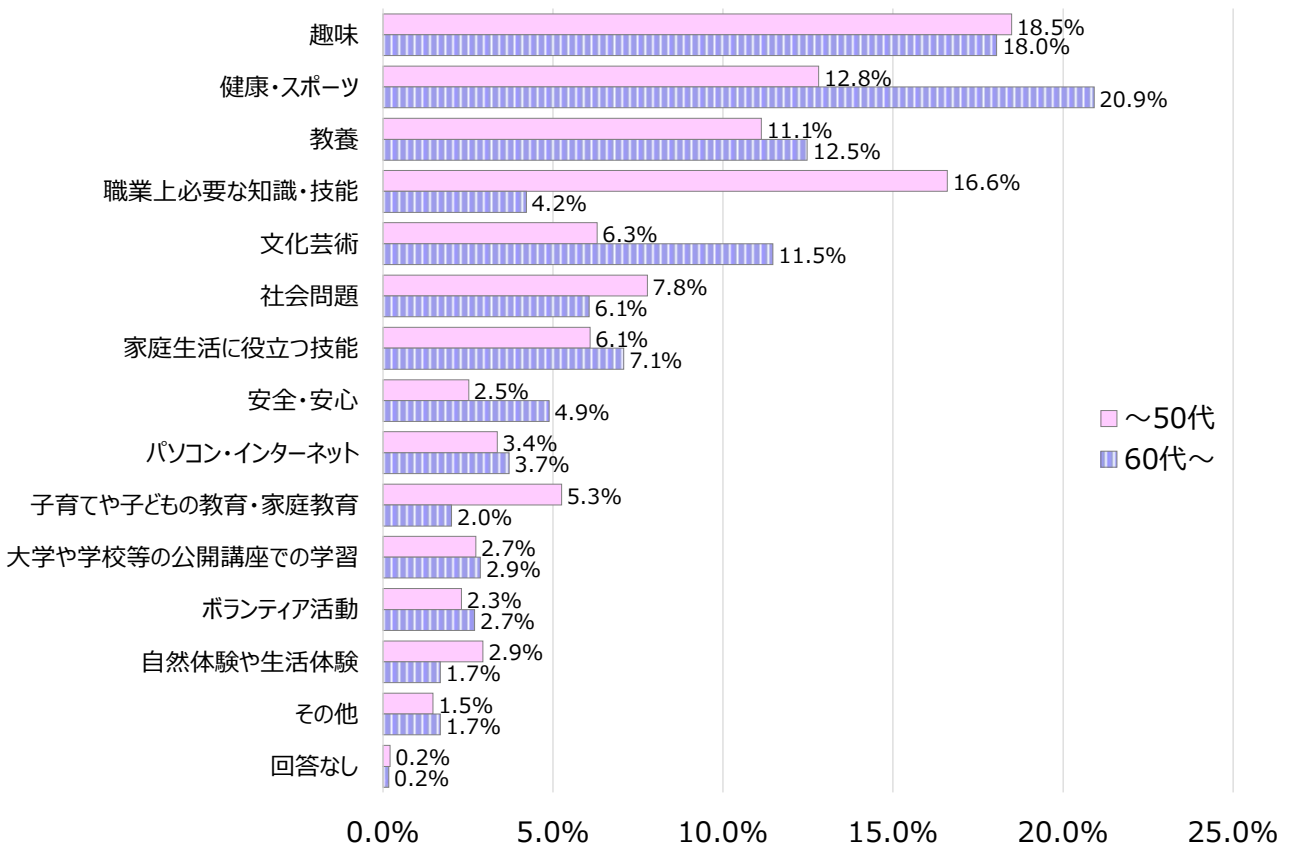


【問8】どのようなことについて学習をしていますか。（複数回答可）

※問7で「ある」を選んだ回答者のみ



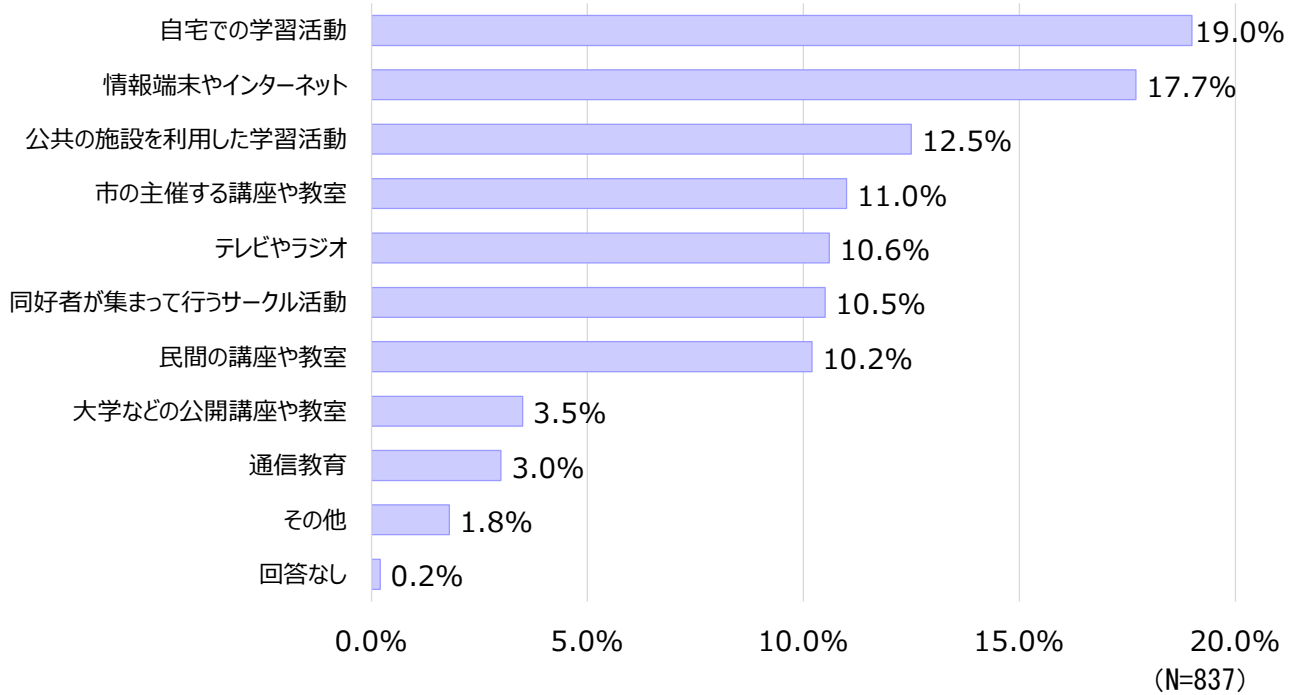
[年代グループ別] 50代以下は「職業上必要な知識・技能」「子育てや子どもの教育・家庭教育」、60代以上は「健康・スポーツ」「文化芸術」の項目が、もう一方のグループに比べて高い。



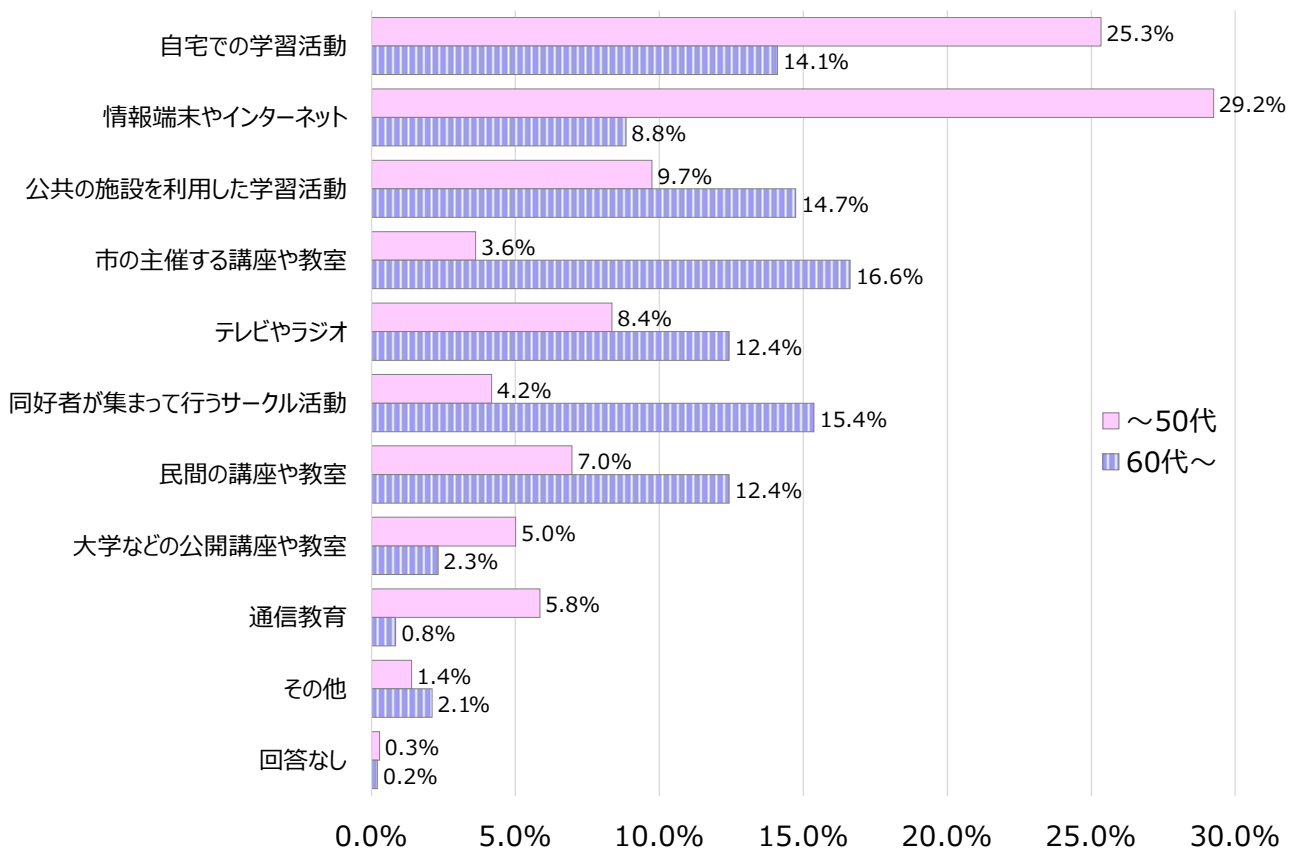


【問9】どのような手段・方法で学習していますか。（複数回答可）

※問7で「ある」を選んだ回答者のみ

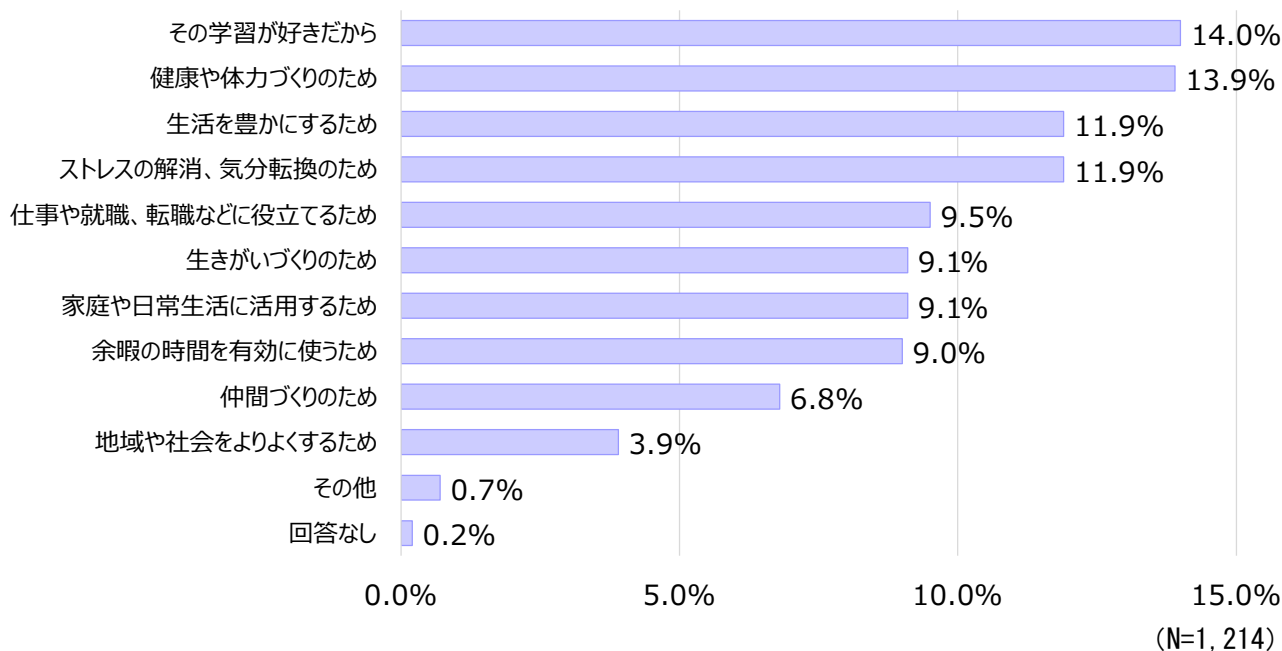


[年代グループ別] 50代以下は「自宅での学習活動」「情報端末やインターネット」、60代以上は「市の主催する講座や教室」「同好者が集まって行うサークル活動」の項目が、もう一方のグループに比べて高い。

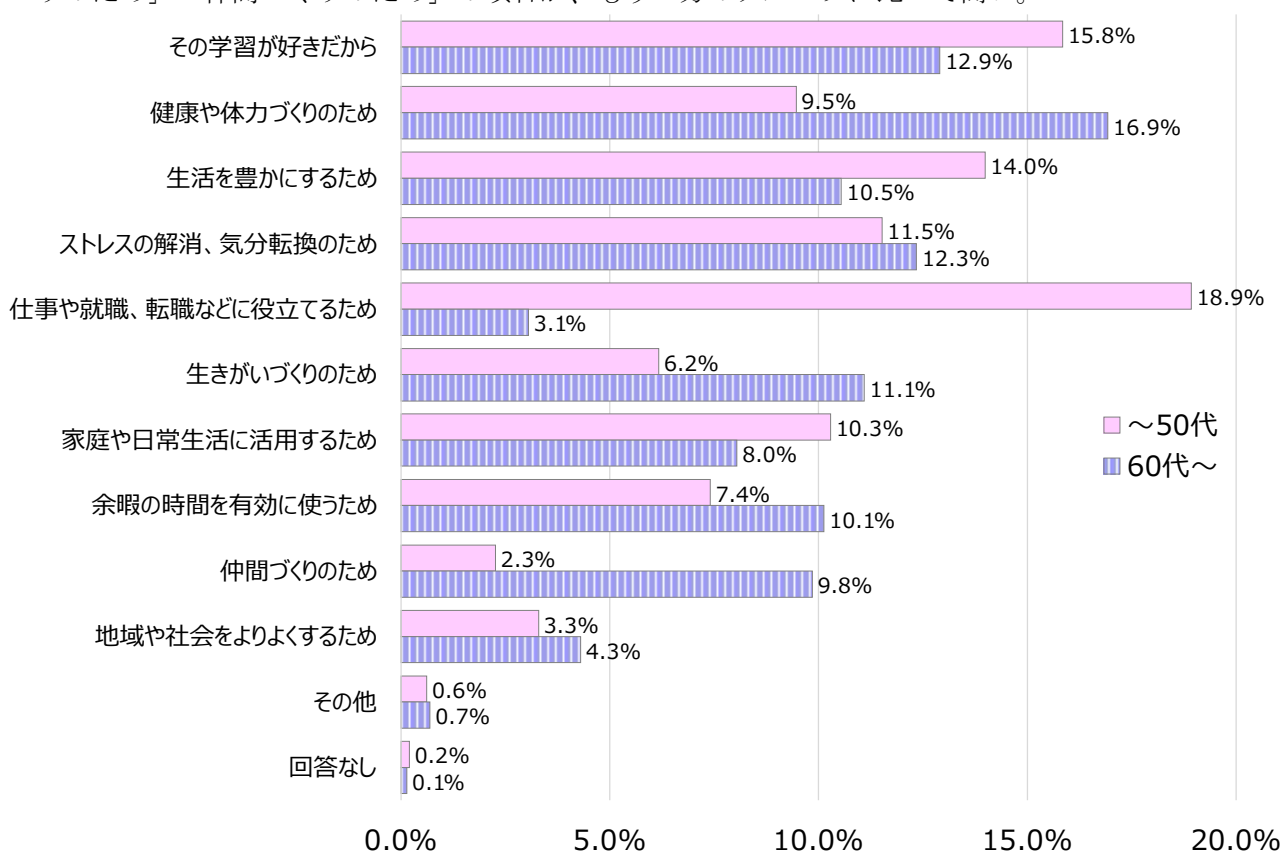


【問10】 学習をする目的は何ですか。（複数回答可）

※問7で「ある」を選んだ回答者のみ

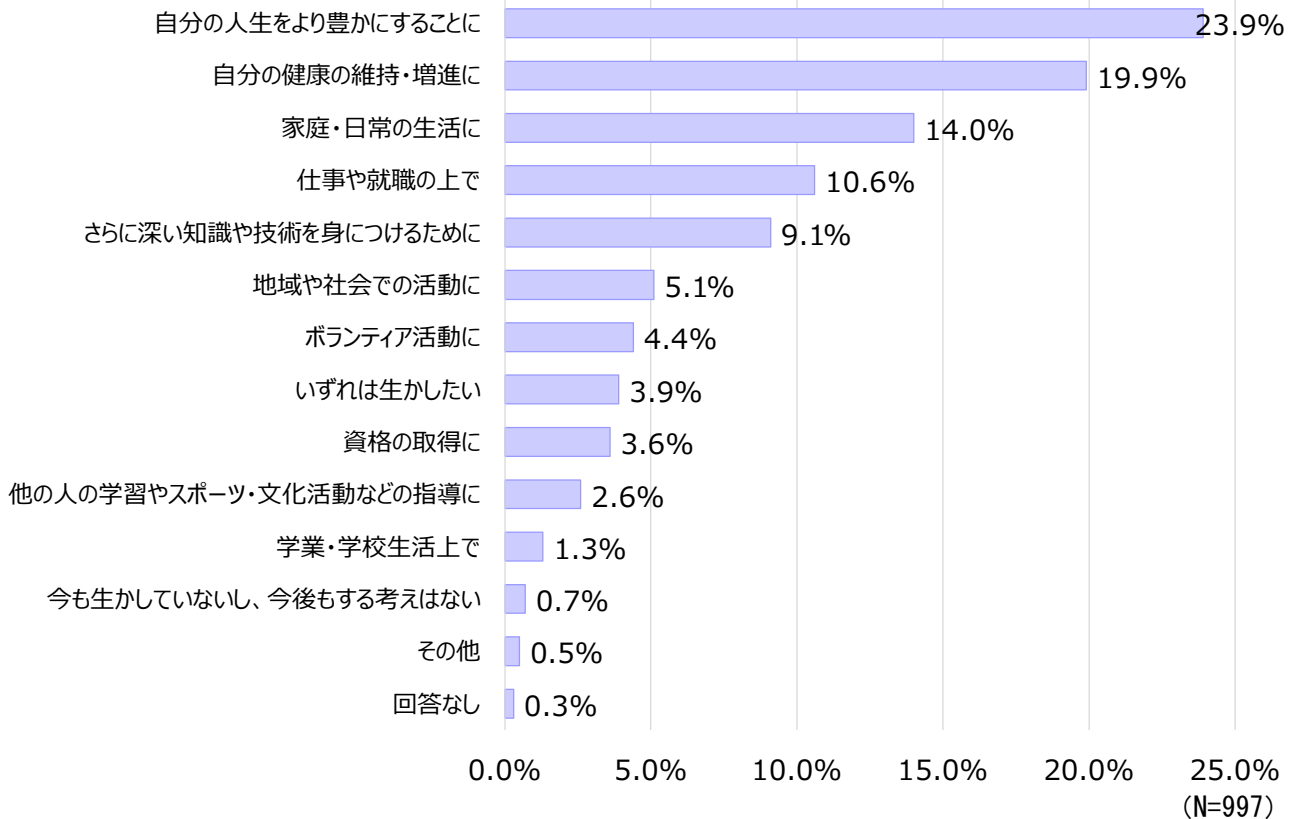


[年代グループ別] 50代以下は「仕事や就職、転職に役立てるため」、60代以上は「健康や体力づくりのため」「仲間づくりのため」の項目が、もう一方のグループに比べて高い。

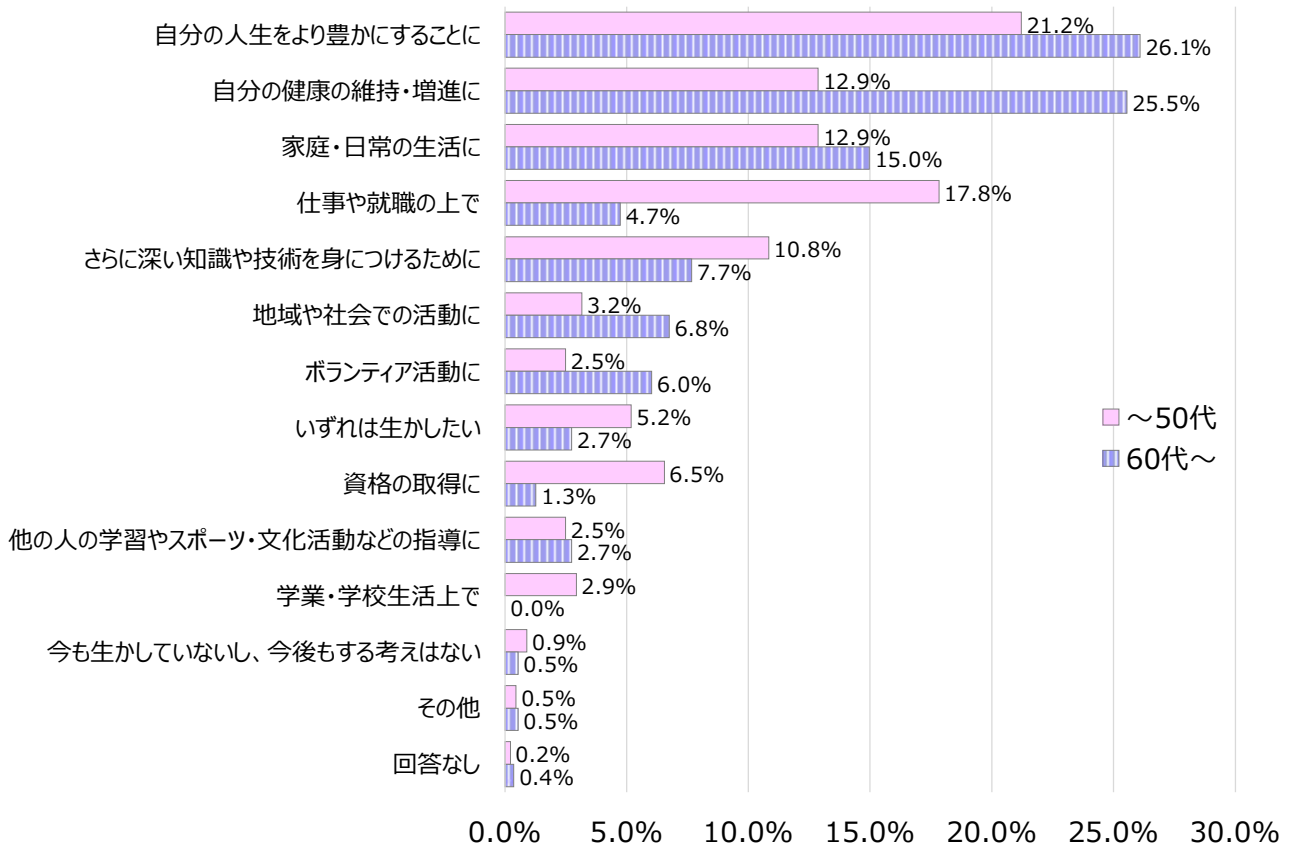


【問11】学習活動を通して、身につけた知識、技能や経験をどのように生かしていますか。

(複数回答可) ※問7で「ある」を選んだ回答者のみ

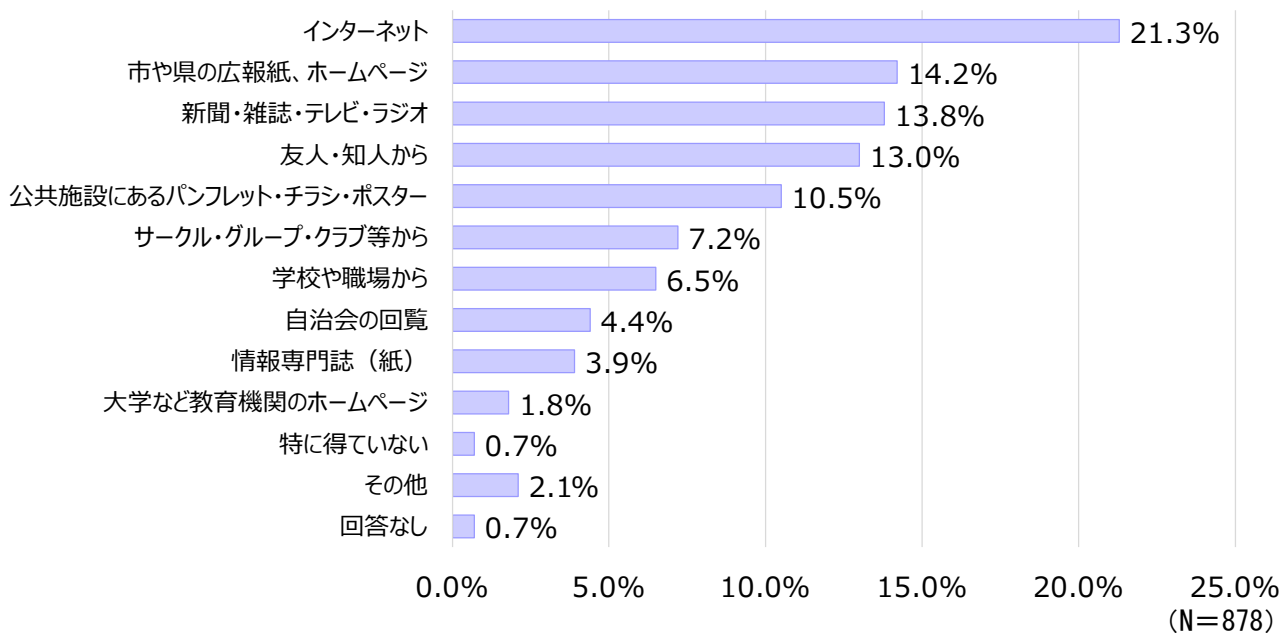


[年代グループ別] 50代以下は「仕事や就職の上で生かしている」、60代以上は「自分の健康の維持・増進に役立っている」の項目が、もう一方のグループに比べて高い。

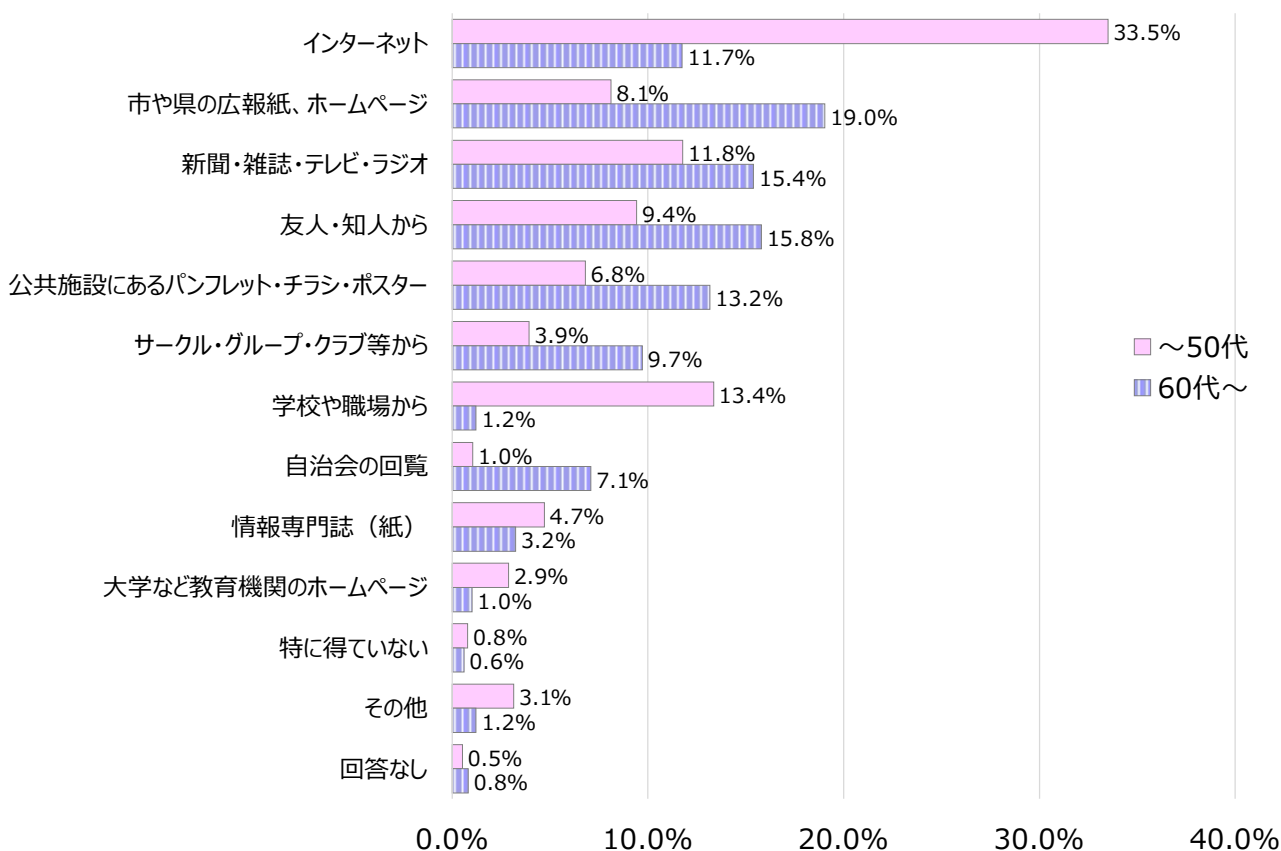


【問12】学習情報をどのように得ていますか。（複数回答可）

※問7で「ある」を選んだ回答者のみ

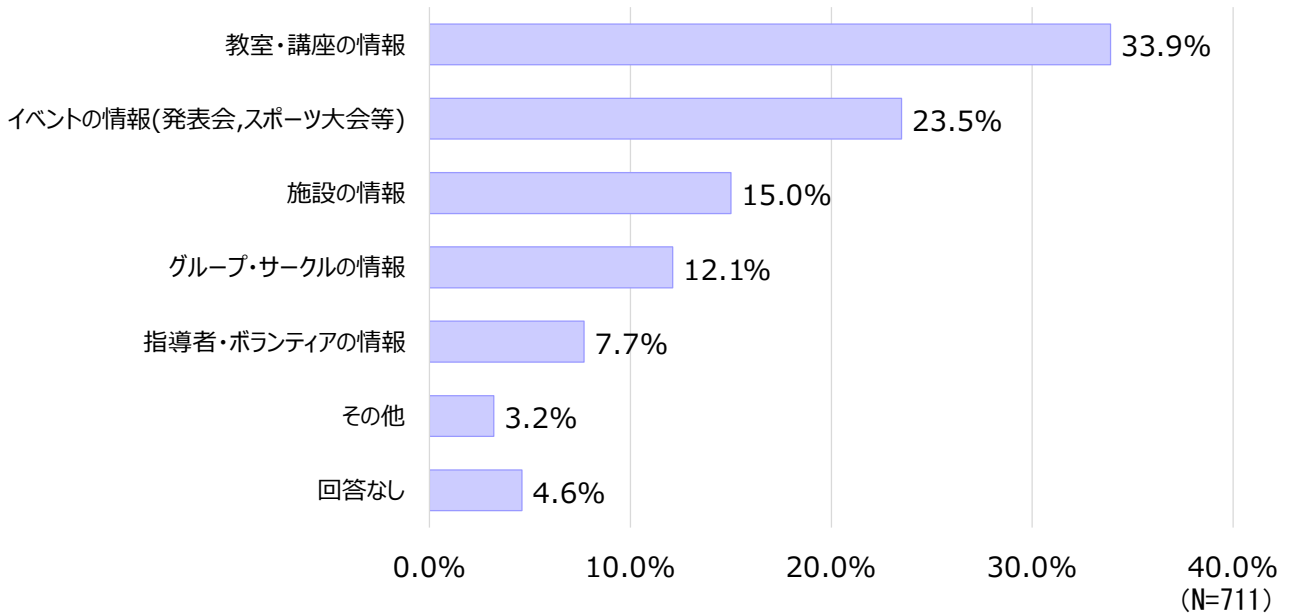


【年代グループ別】50代以下は「インターネット」「学校や職場から」、60代以上は「市や県の広報紙、ホームページ」「公共施設にあるパンフレット・チラシ・ポスター」の項目が、もう一方のグループに比べて高い。

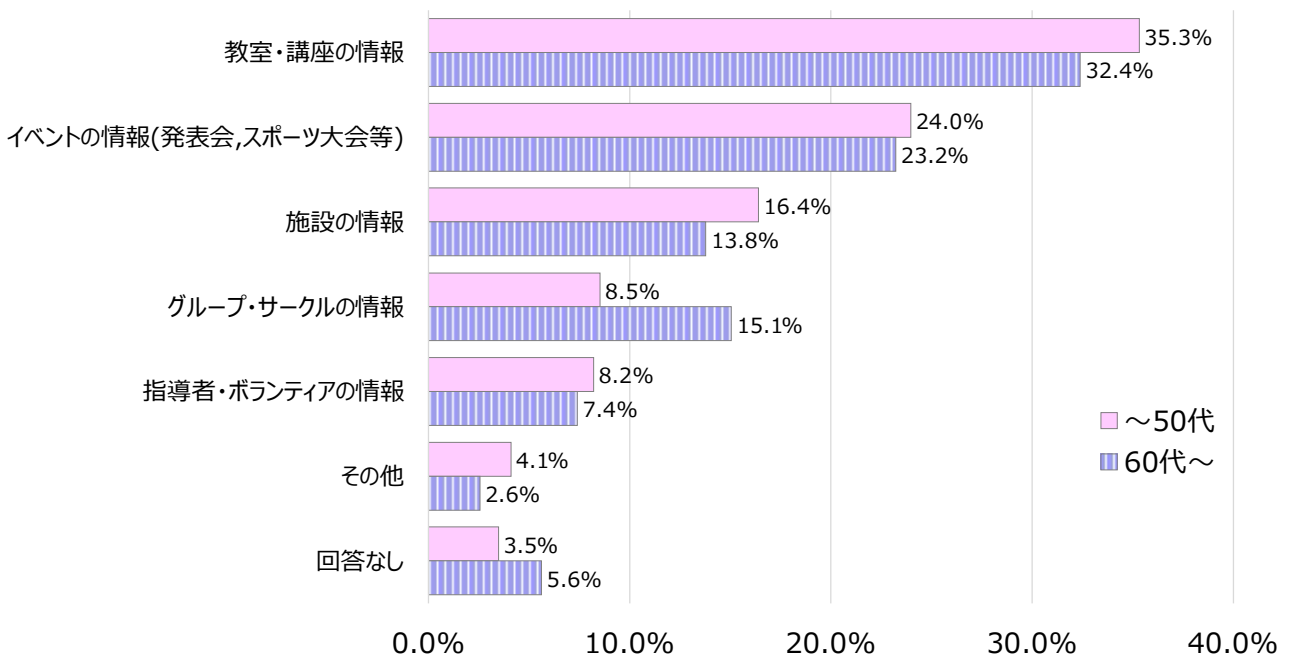


**【問13】 学習情報はどのような内容を望みますか。（複数回答可）**

※問7で「ある」を選んだ回答者のみ

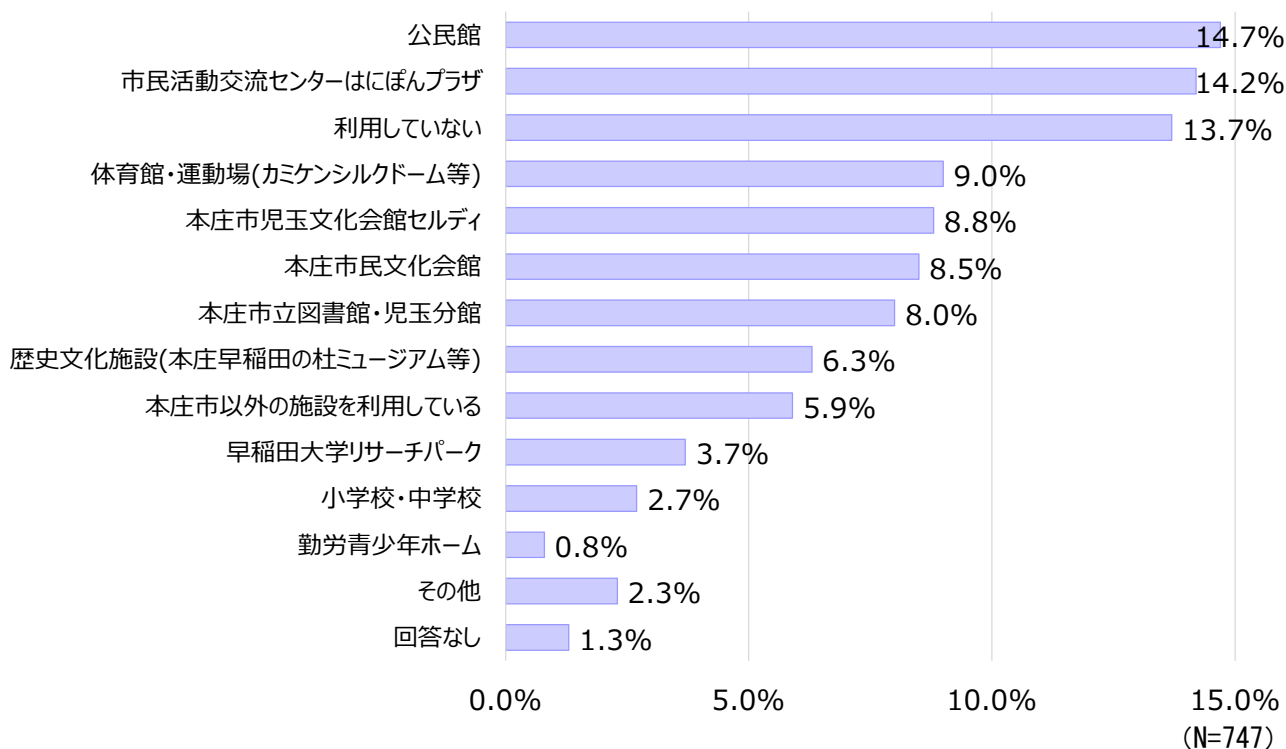


[年代グループ別] グループ間で大きな差はないが、「グループ・サークルの情報」のみ60代以上の方が比較的割合が高い。

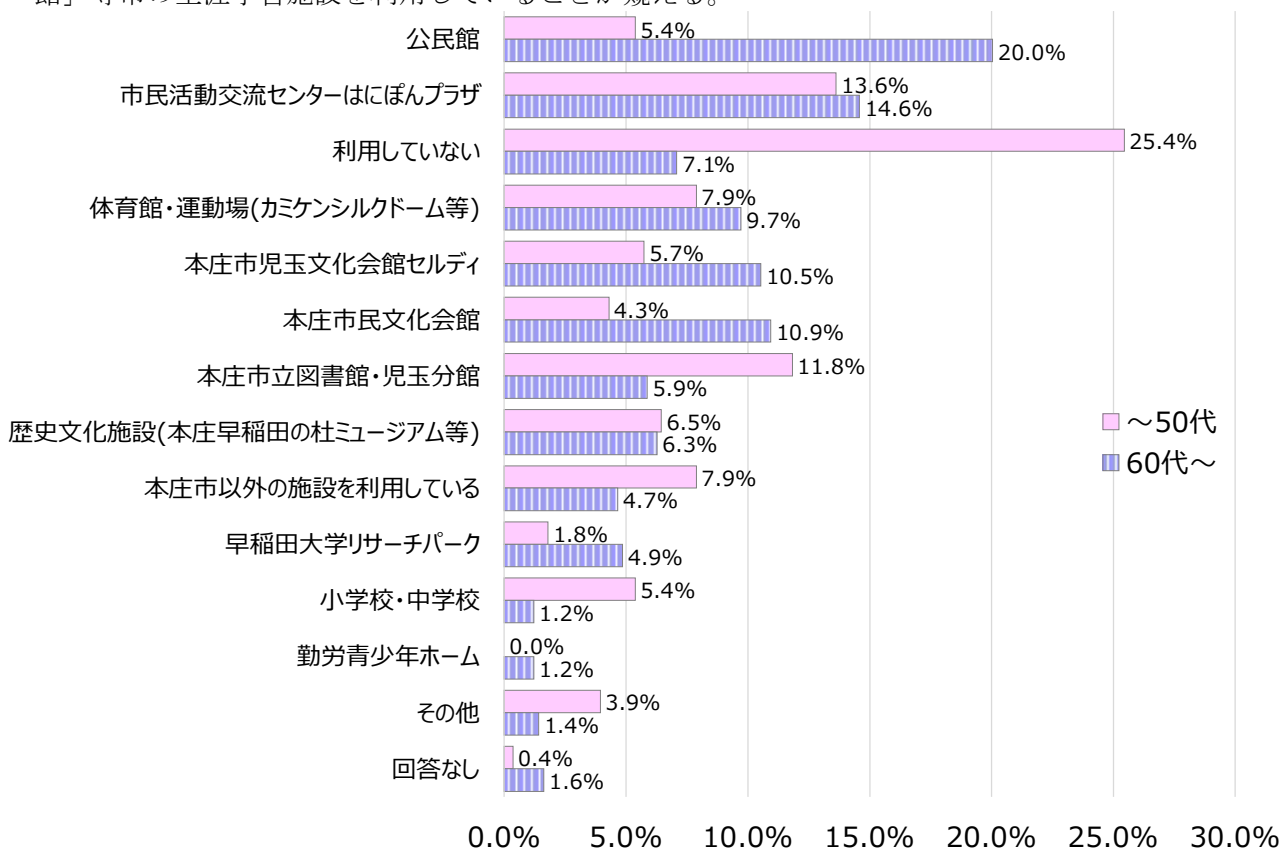


【問14】生涯学習目的として利用した市内の施設はどこですか。（複数回答可）

※問7で「ある」を選んだ回答者のみ

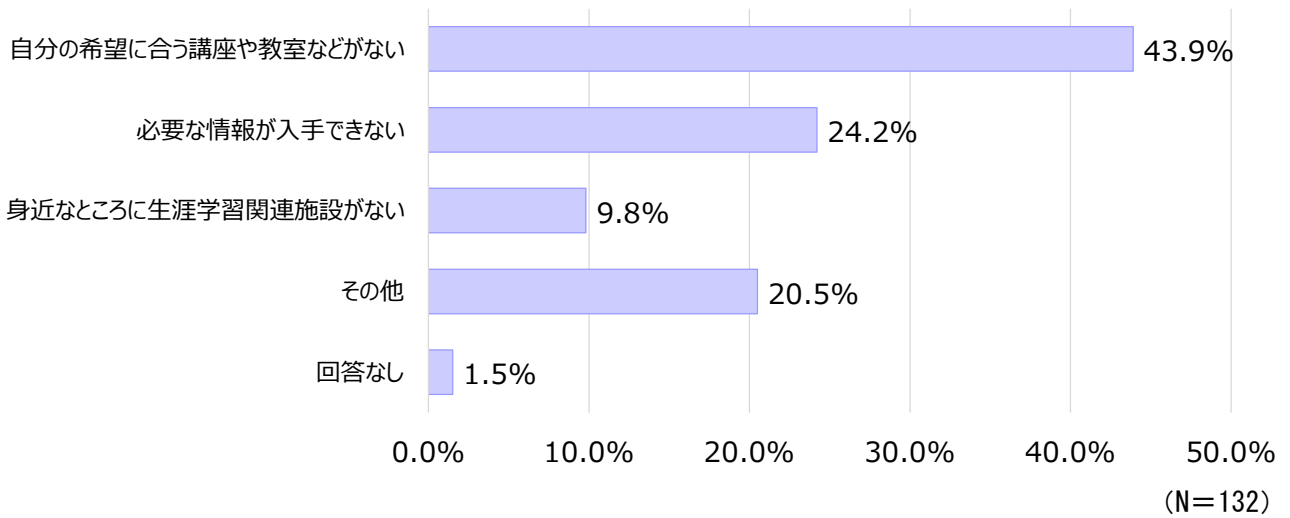


【年代グループ別】50代以下は25.4%が「利用していない」と回答している一方、60代以上は「公民館」等市の生涯学習施設を利用していることが窺える。

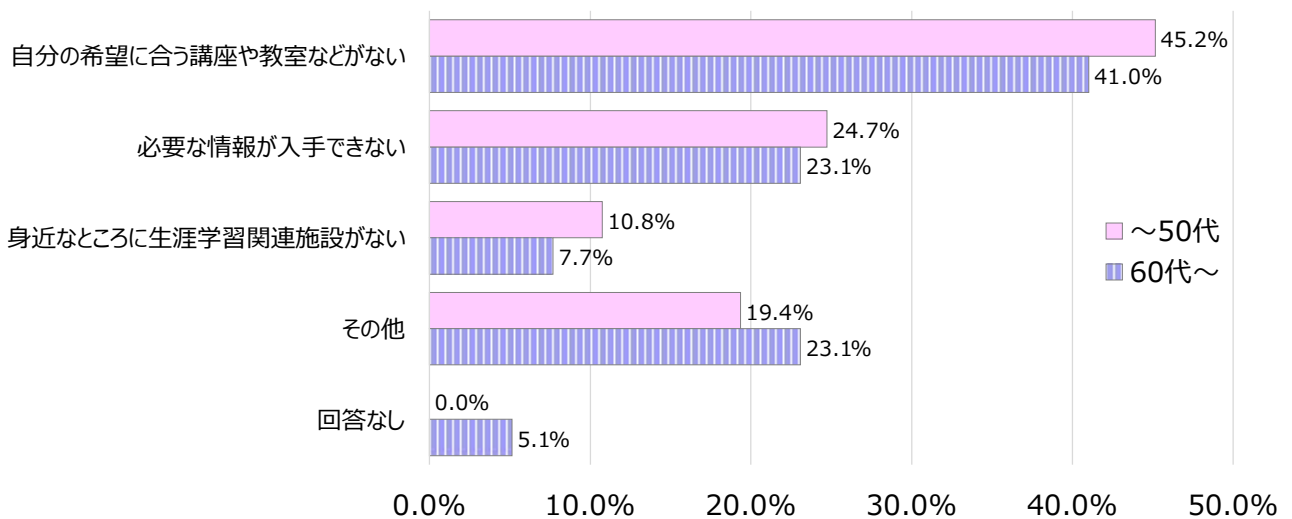


**【問15】 市内の生涯学習施設を利用していない理由は何ですか。（複数回答可）**

※問14で「利用していない」を選んだ回答者のみ



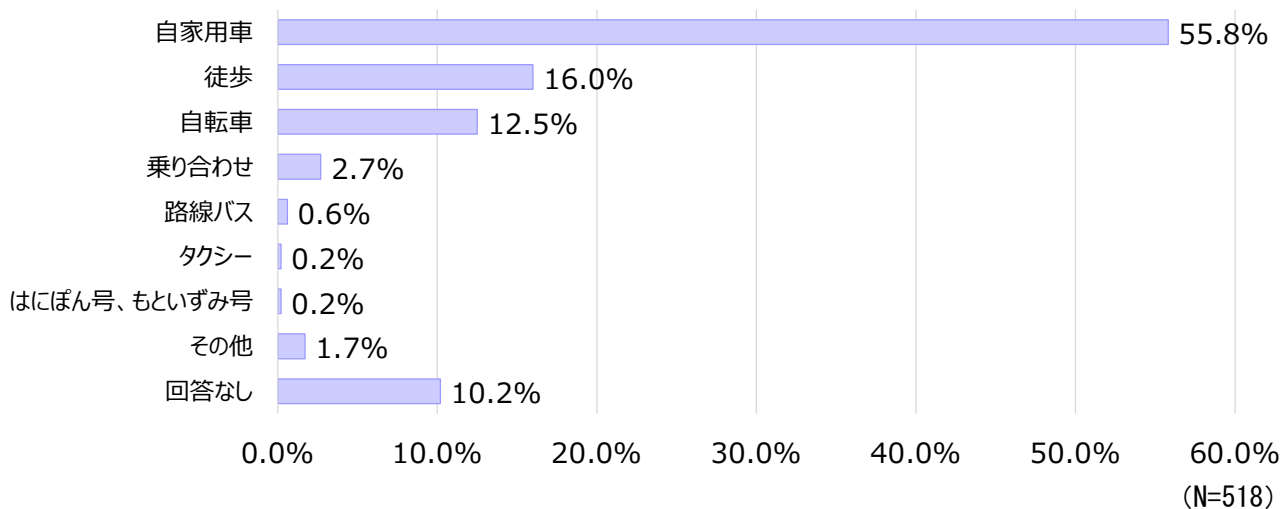
【年代グループ別】 グループ間に大きな差はなく、「自分の希望に合う講座や教室がない」が最も割合が高い。



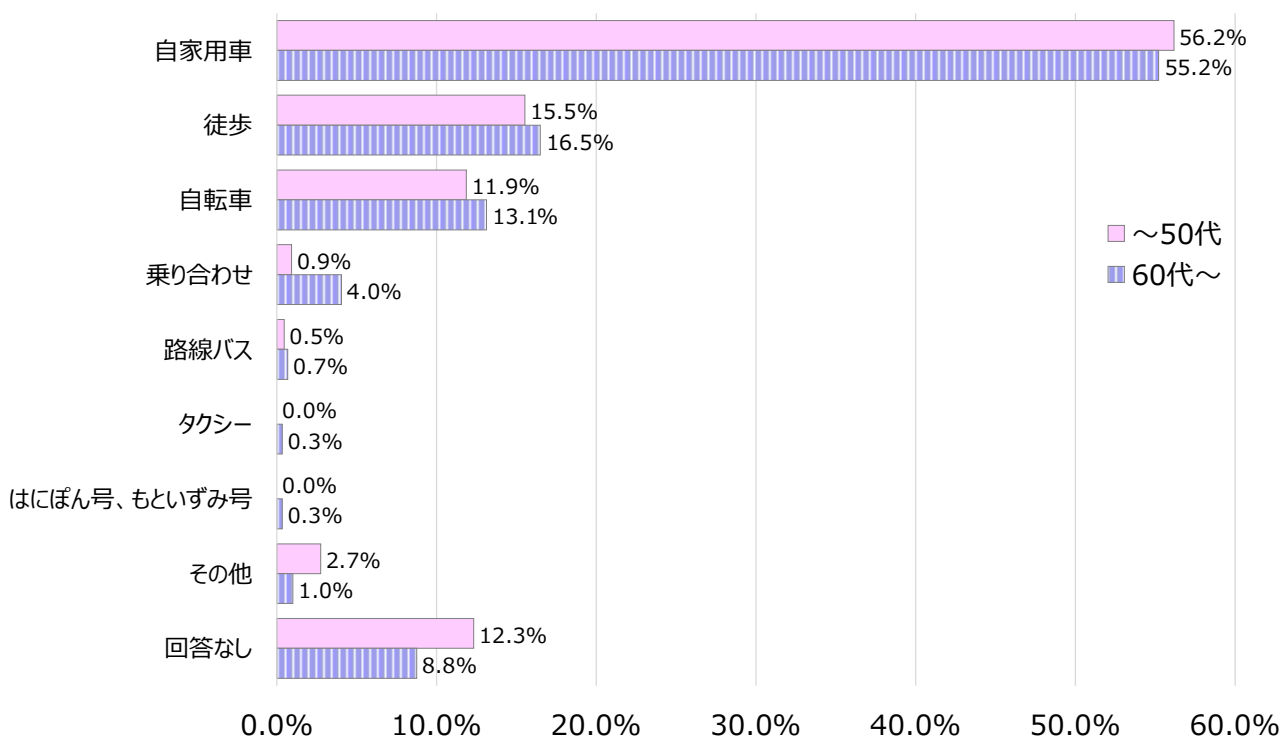
**【問16】生涯学習関連施設\*まで移動する場合の主な手段は何ですか。（複数回答可）**

※生涯学習関連施設……公民館、文化会館、学校、図書館、体育館、歴史文化施設等

※問7で「ある」を選んだ回答者のみ



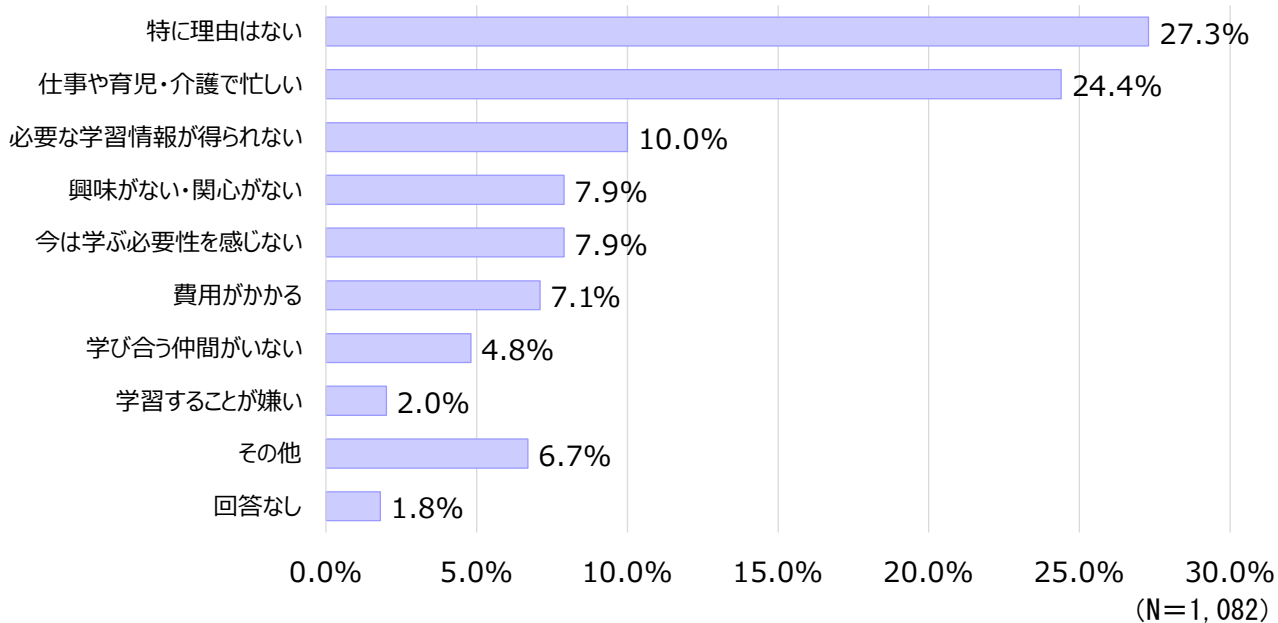
[年代グループ別] グループ間に大きな差はない。



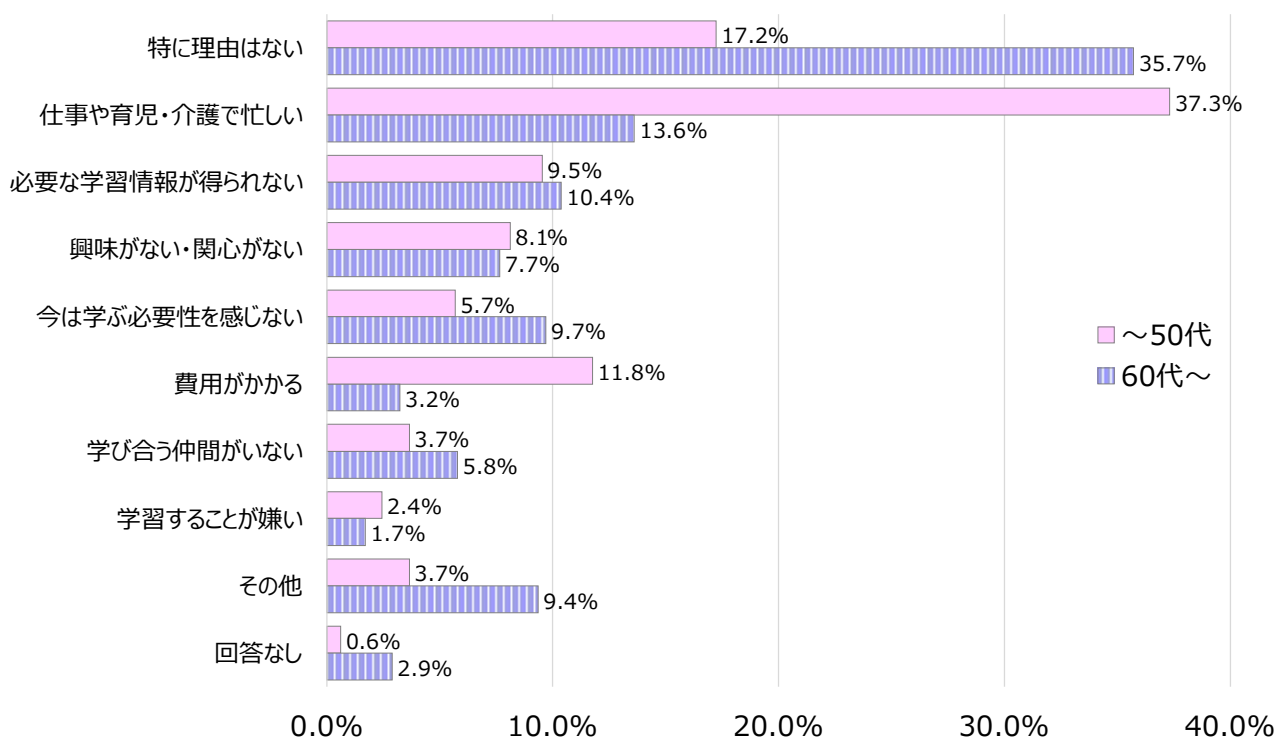


【問17】特に学習活動をしていない理由をお聞かせ下さい。（複数回答可）

※問7で「ない」を選んだ回答者のみ

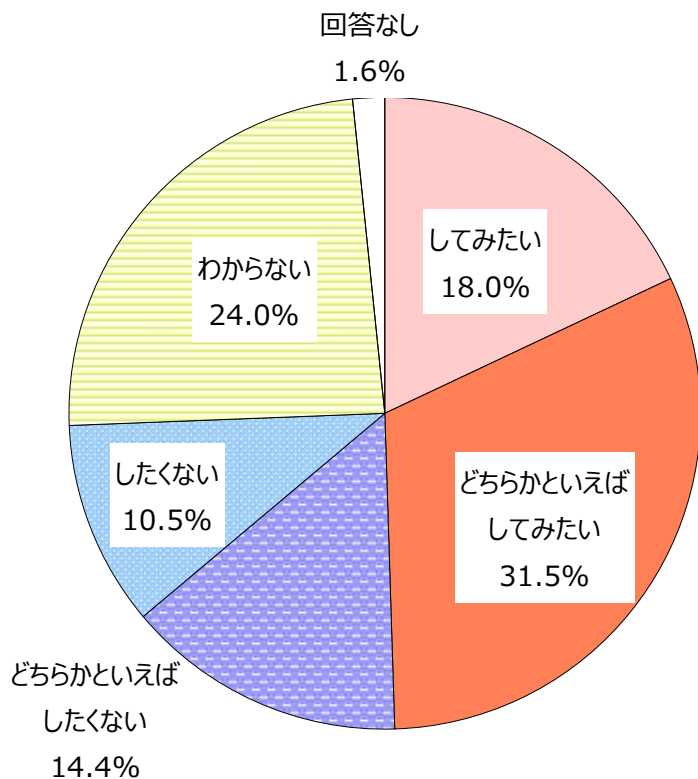


[年代グループ別] 50代以下は「仕事や育児・介護で忙しい」、60代以上は「特に理由はない」の項目が突出して高い。



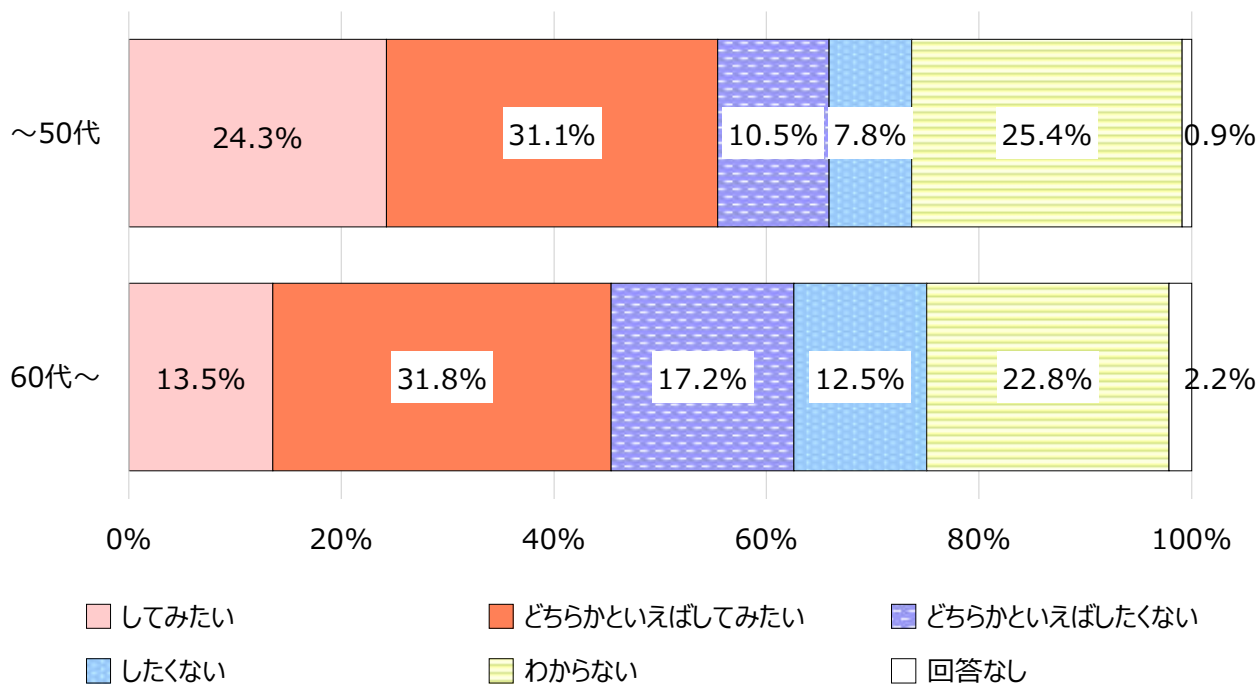
【問18】 今後の学習活動についてはどのようにお考えですか。（1つを選択）

※問7で「ない」を選んだ回答者のみ



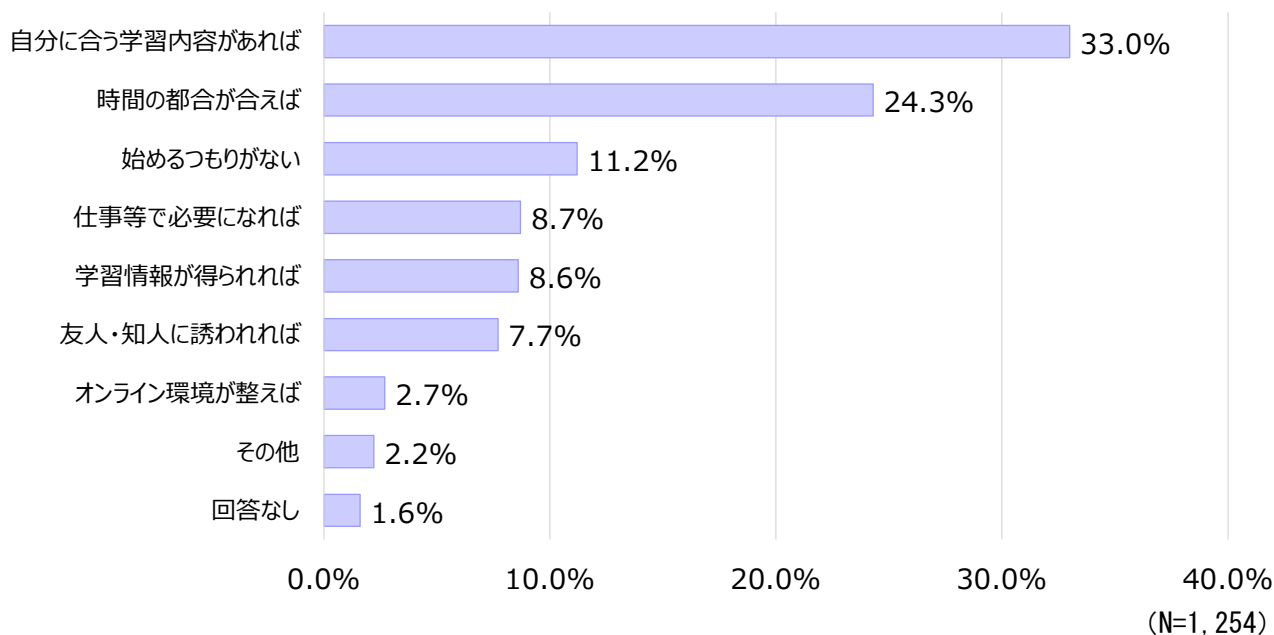
(N=800)

[年代グループ別] グループ間に大きな差はないが、50代以下の方が「してみたい」の割合が高い。

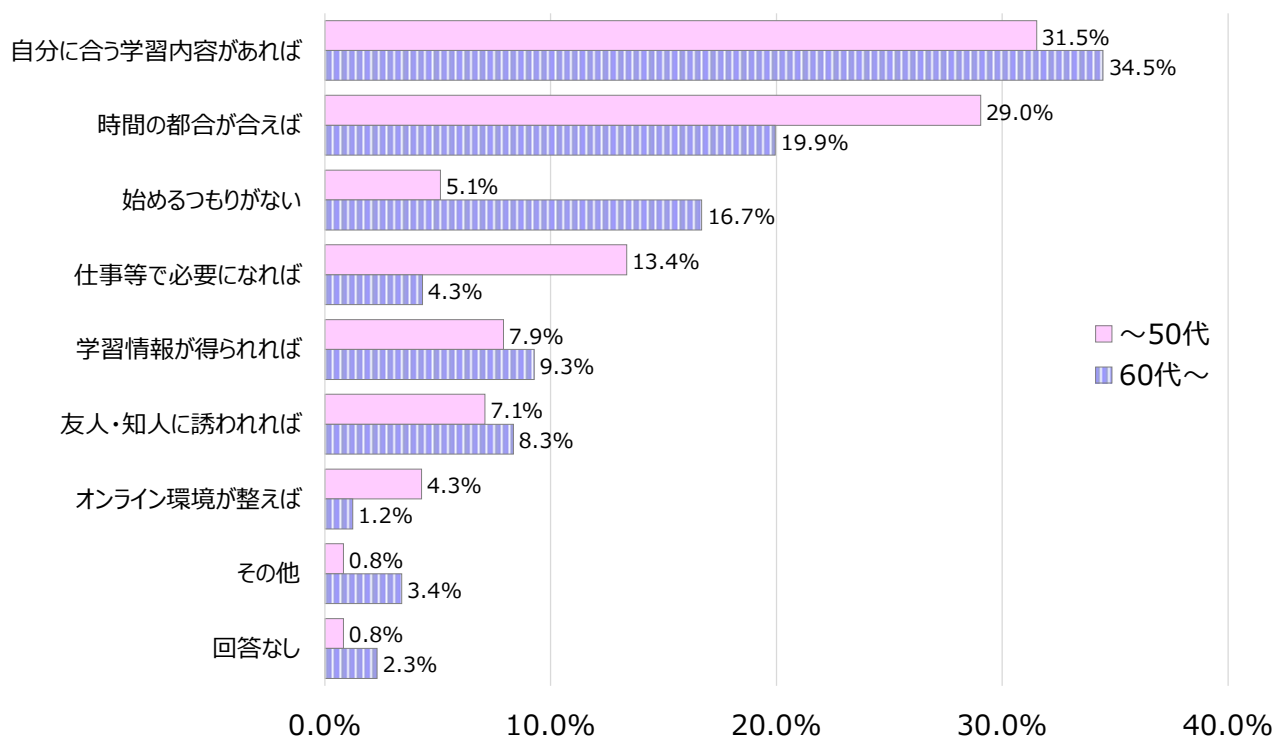


【問19】どのような機会等があれば学習活動を始めたいと思いますか。（複数回答可）

※問7で「ない」を選んだ回答者のみ

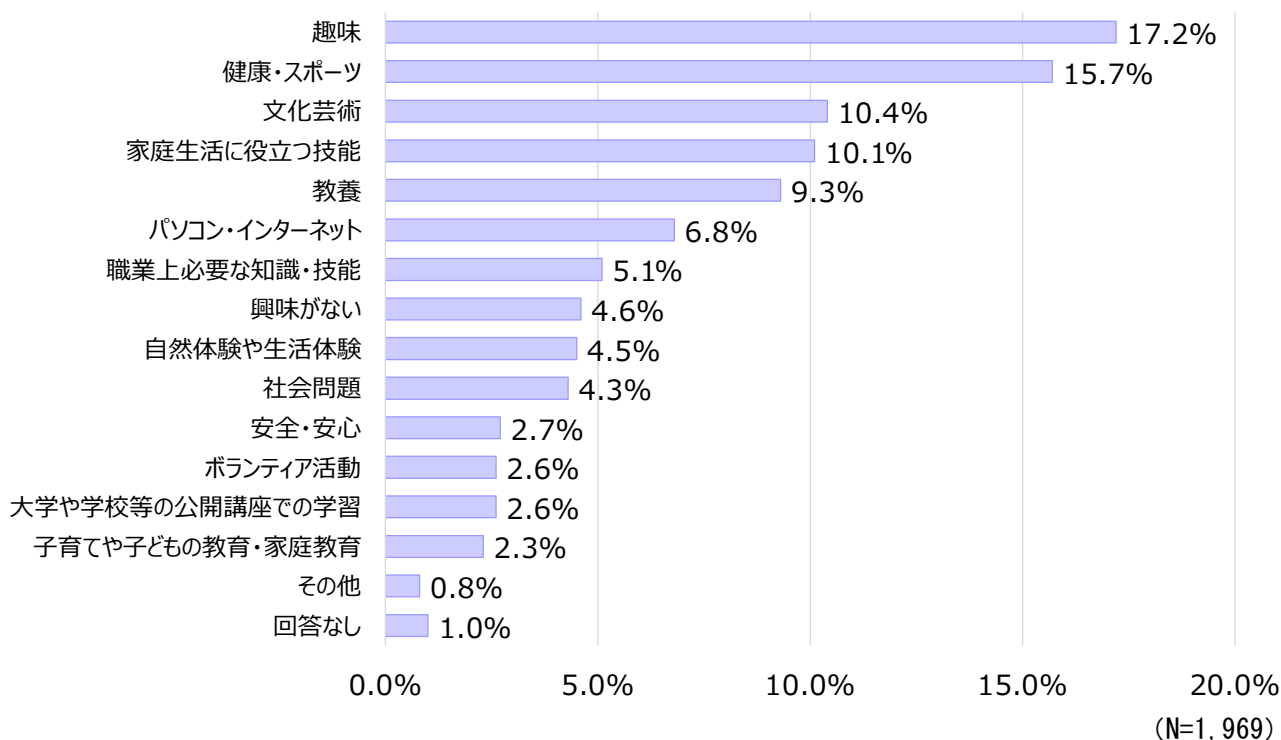


[年代グループ別] 50代以下は「時間の都合が合えば」「仕事等で必要になれば」、60代以上は「始めるつもりがない」がもう一方のグループに比べて比較的高い。

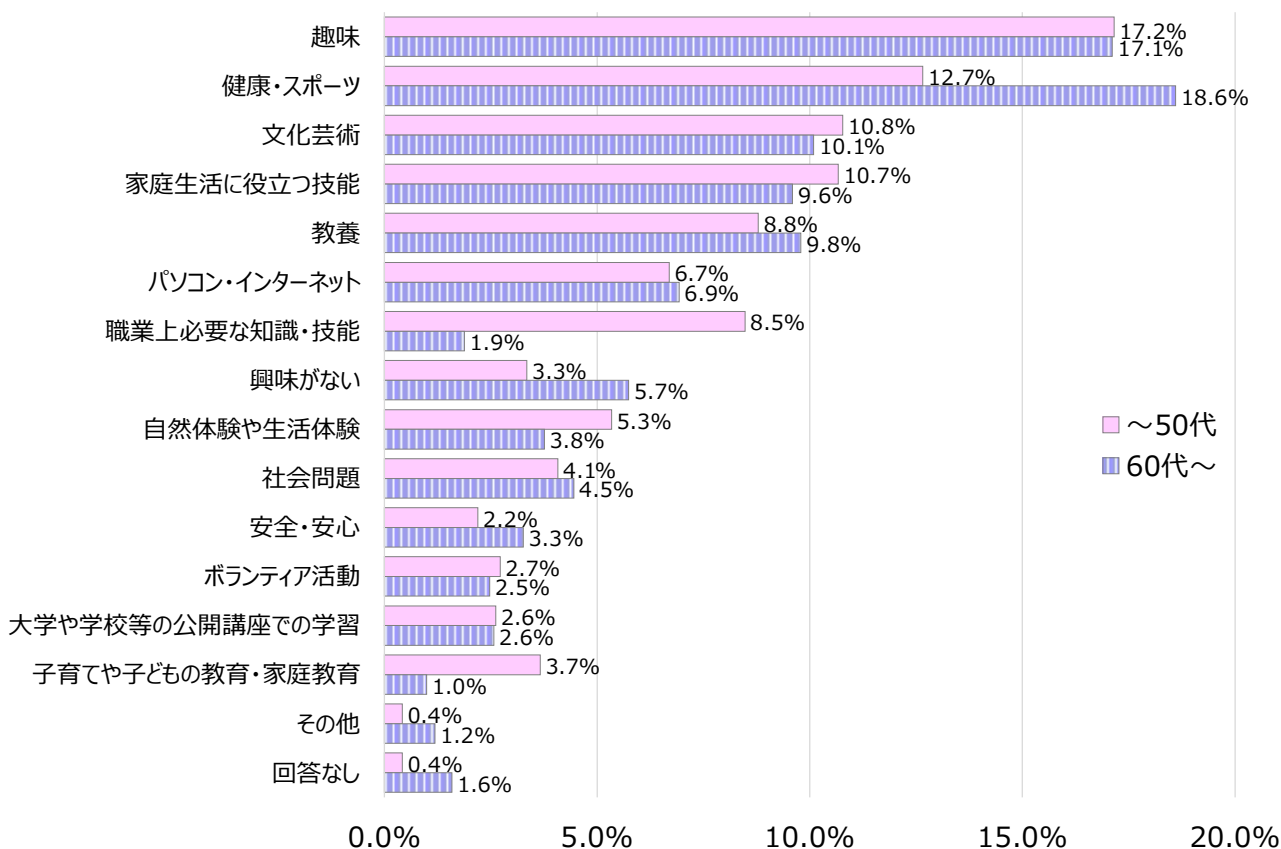


【問20】あなたが興味のある学習分野はどれですか。（複数回答可）

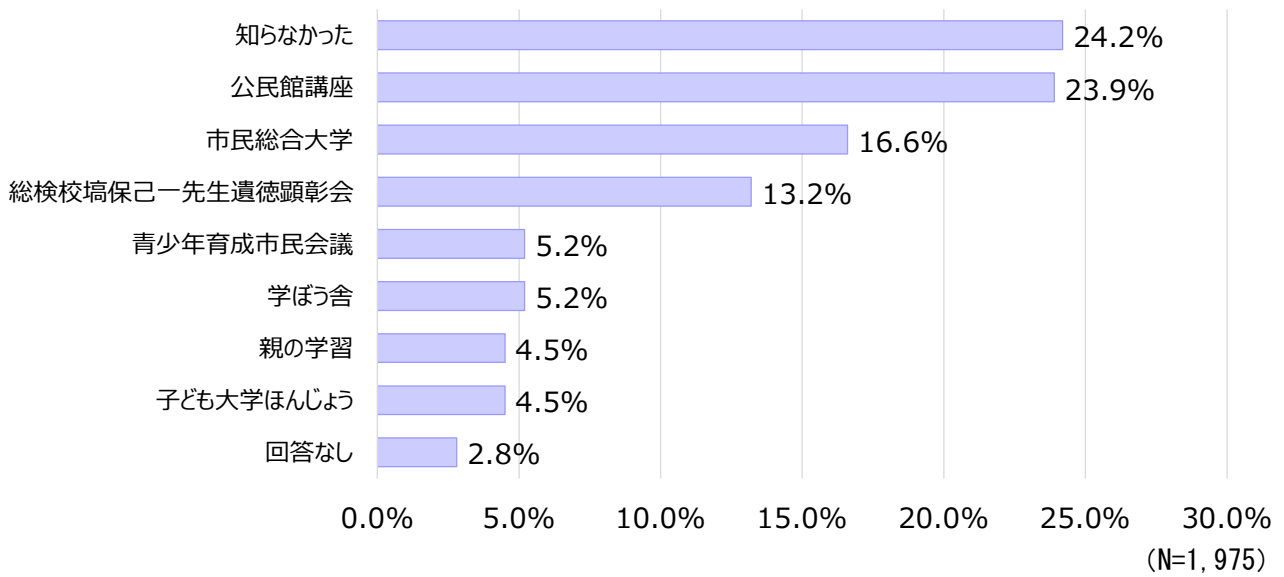
※問7で「ない」を選んだ回答者のみ



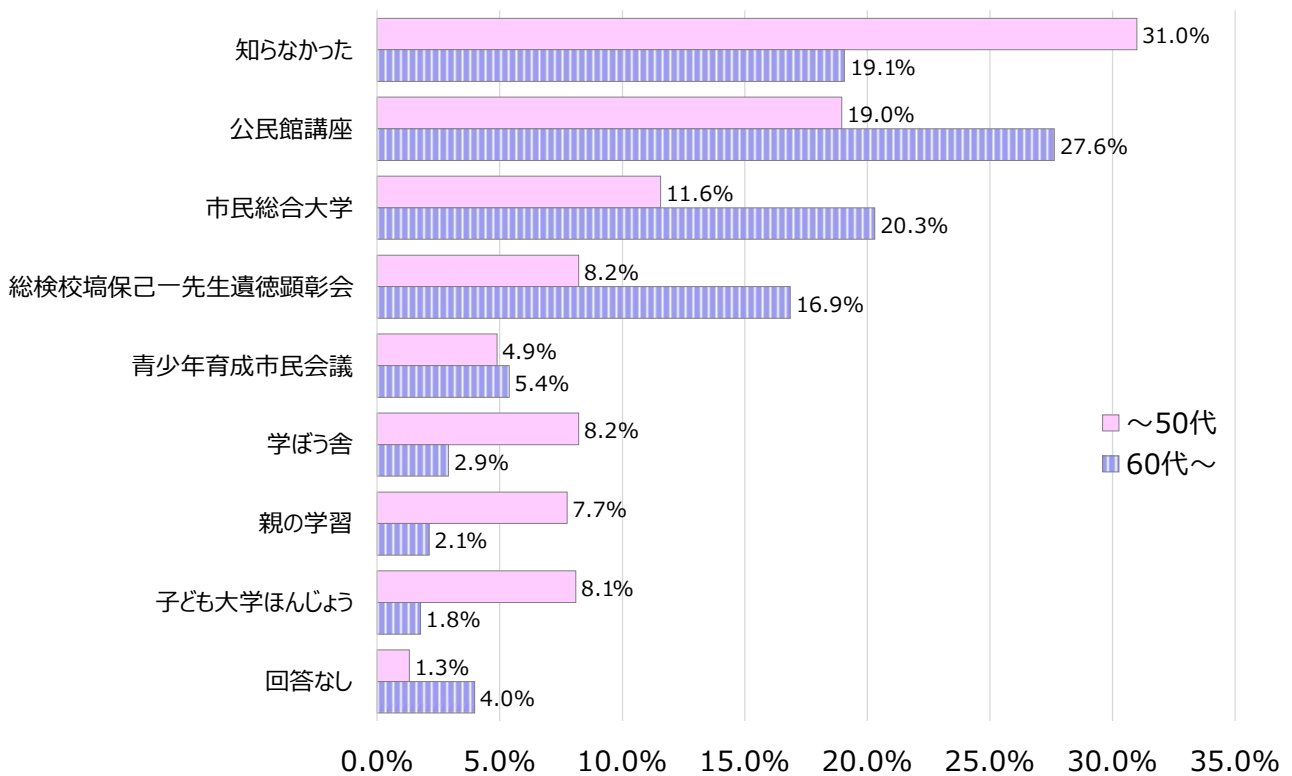
[年代グループ別] 50代以下は「職業上必要な知識・技能」、60代以上は「健康・スポーツ」の項目が、もう一方のグループに比べて比較的高く、問8（学習経験がある回答者が学習している内容）と共通点が見られる。



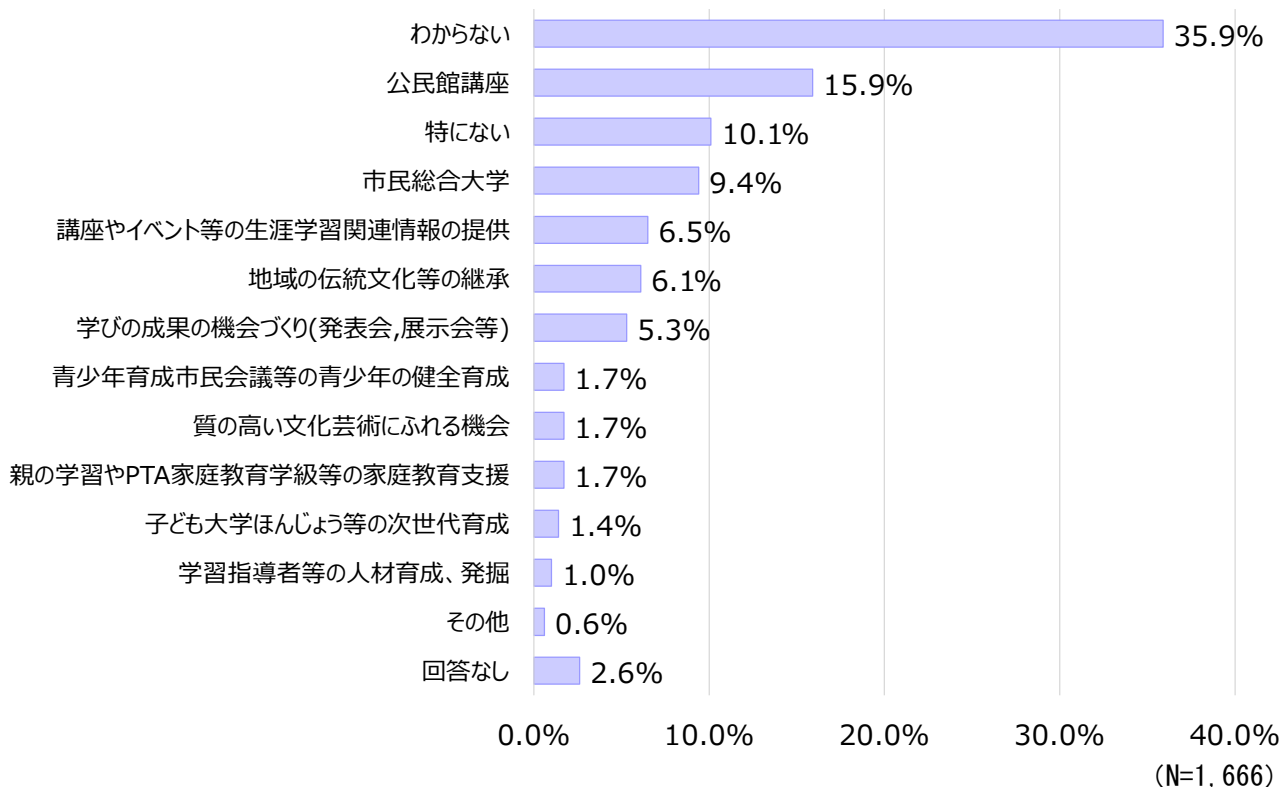
【問21】市では、生涯学習の推進のために次のことを行っていますがご存じですか。（複数回答可）



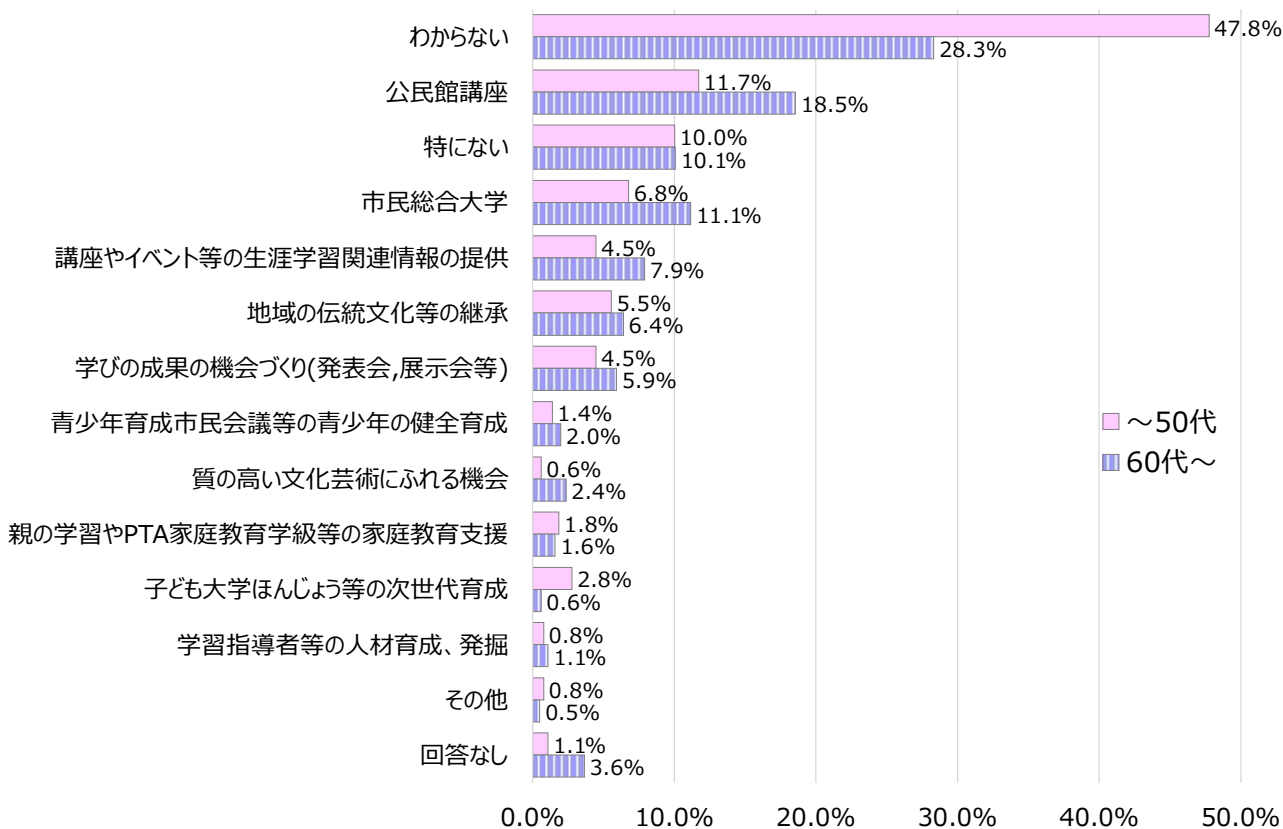
【年代グループ別】50代以下の「知らなかった」という回答が突出している。



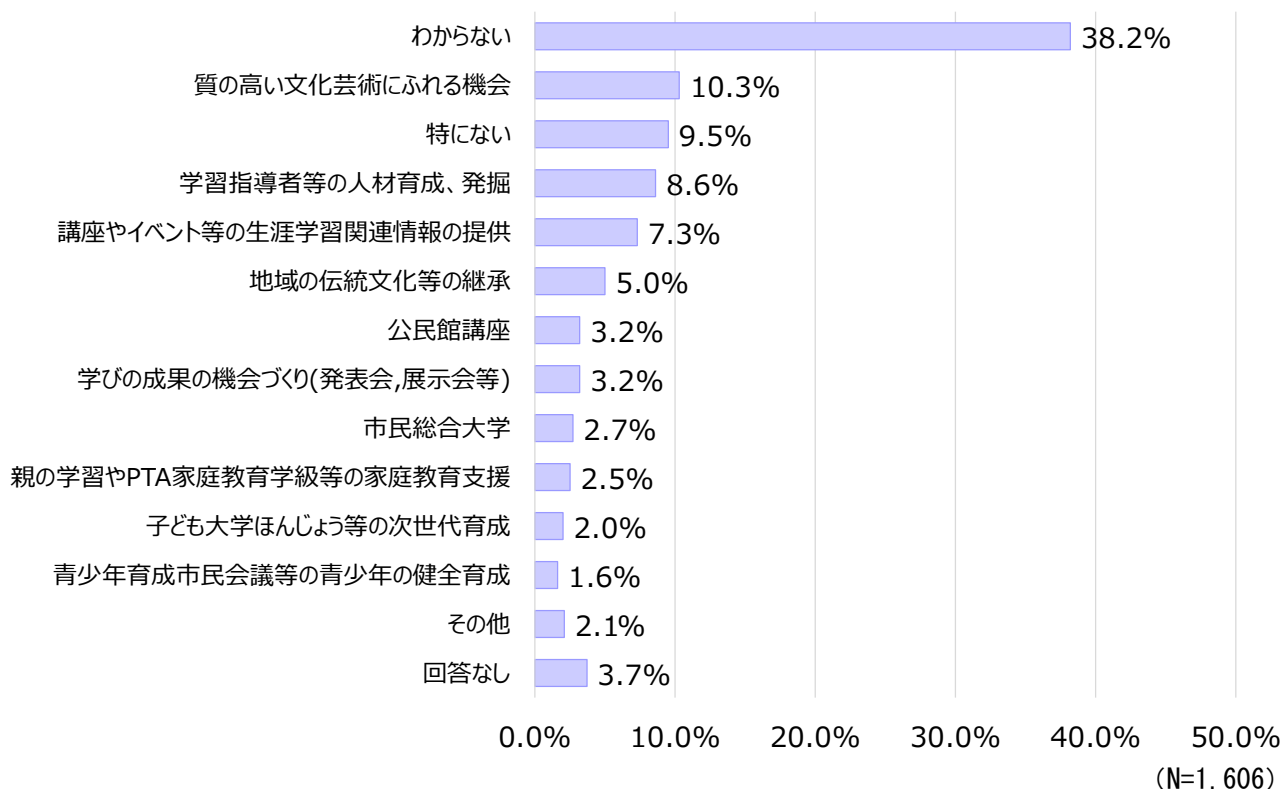
【問22】本庄市の生涯学習において充実していると思う項目はどれですか。（複数回答可）



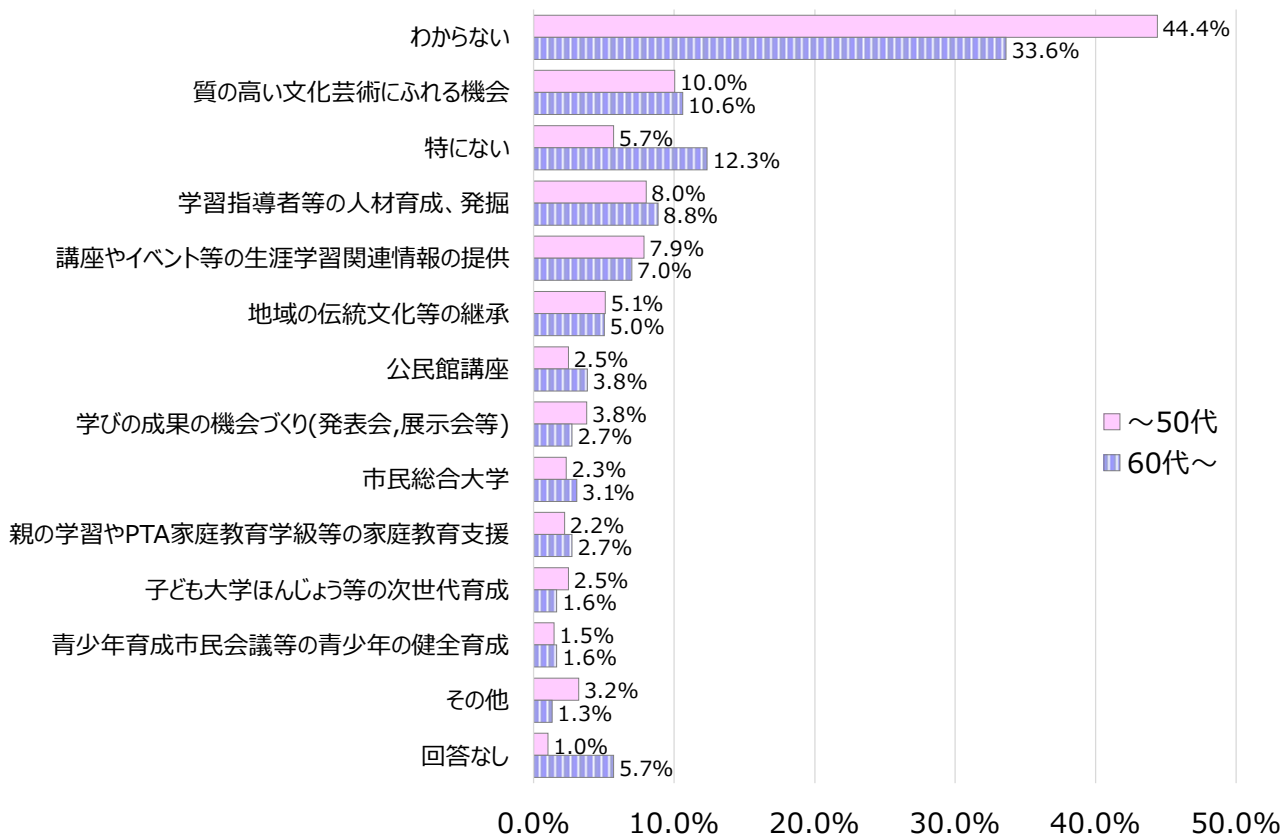
【年代グループ別】50代以下の「わからない」という回答が突出している。



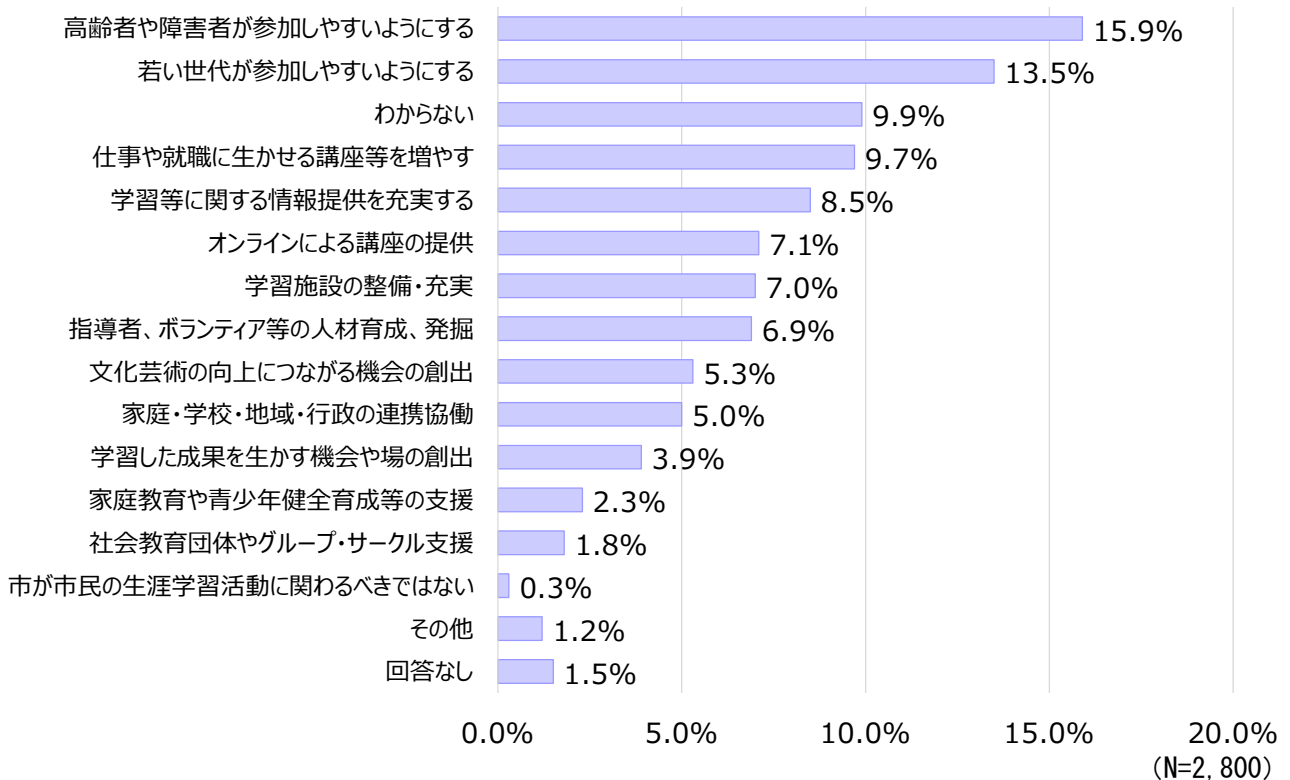
【問23】本庄市の生涯学習において不足していると思う項目はどれですか。（複数回答可）



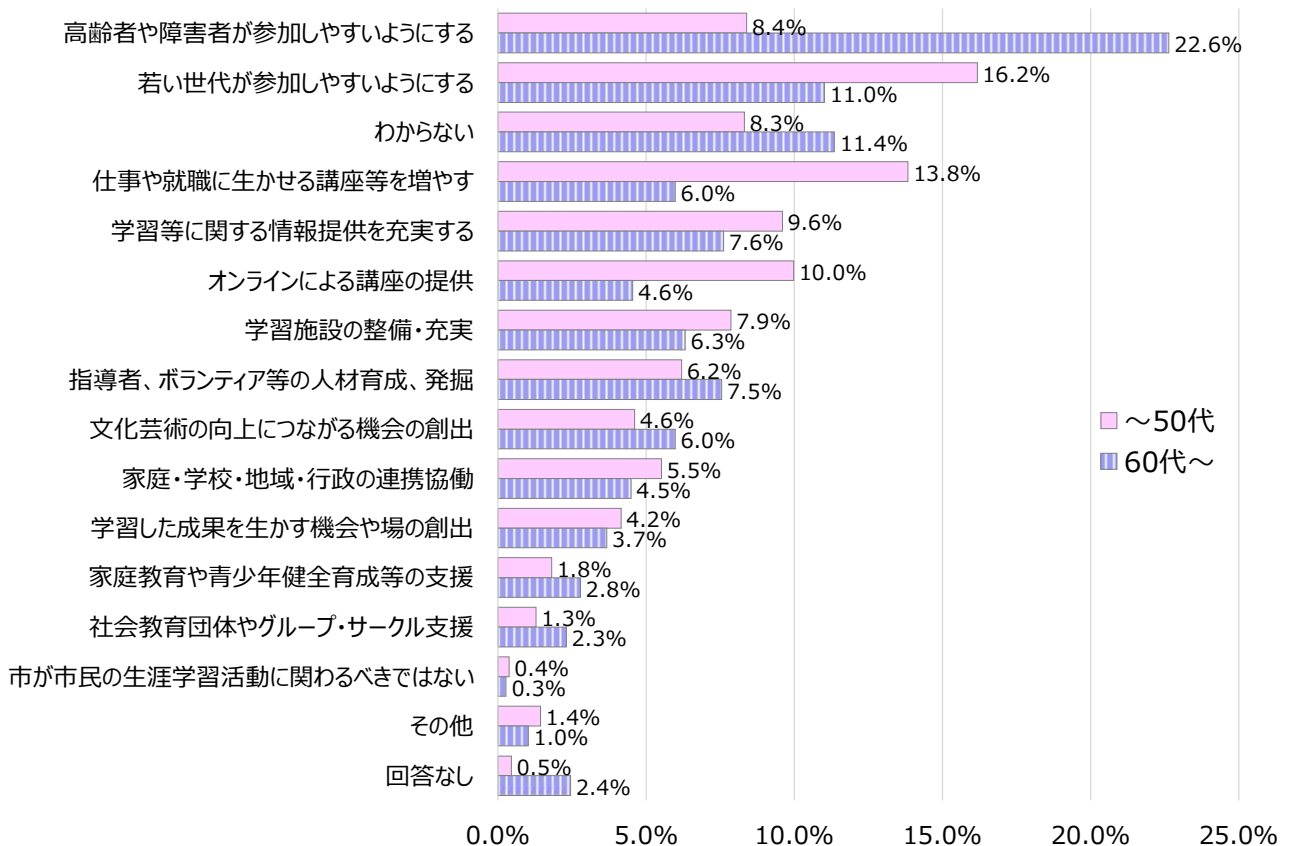
【年代グループ別】グループ間に大きな差はない。



【問24】 今後、市民の生涯学習をさらに充実させるために、市はどのような支援に力を入れるべきだと思いますか。（複数回答可）



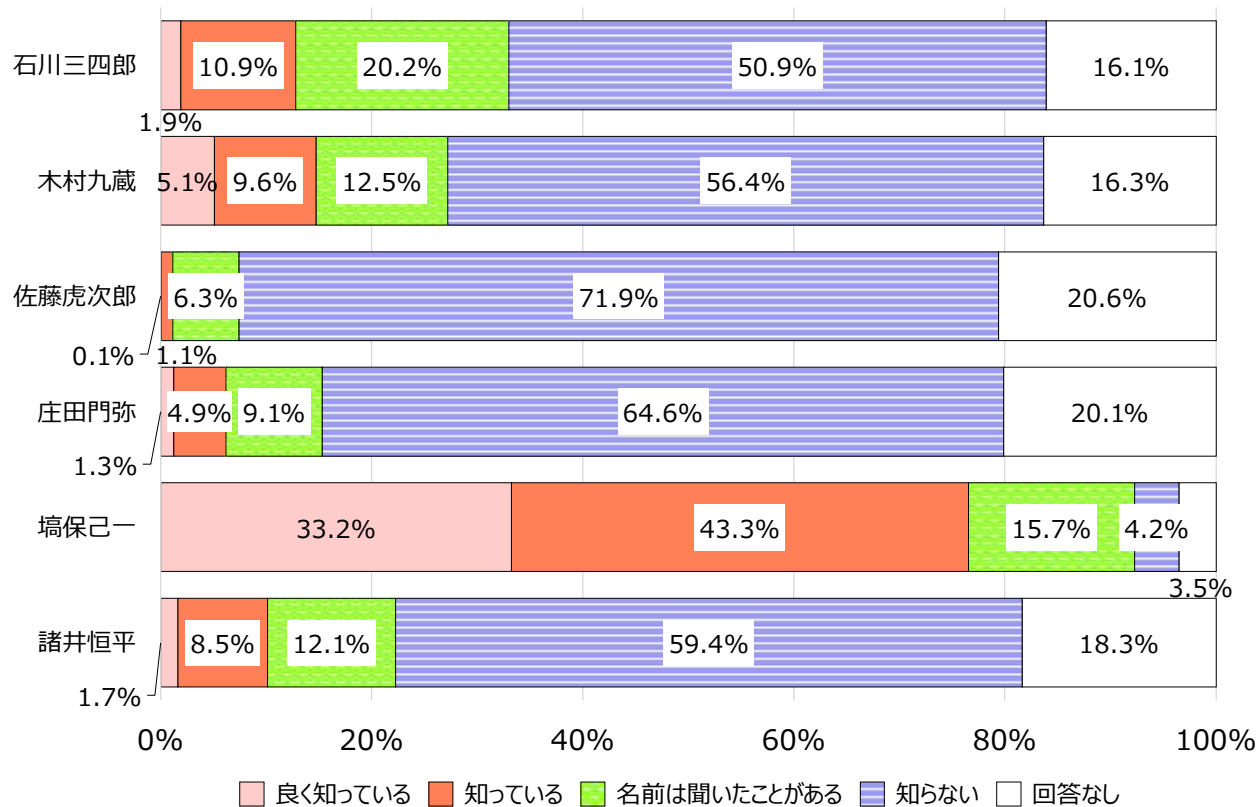
[年代グループ別] 50代以下は「仕事や就職に生かせる講座等を増やす」「オンラインによる講座の提供」が、60代以上は「高年齢者や障害者が参加しやすいようにする」が高い割合になっている。





【問25】本庄市にゆかりのある次の著名人について、どのくらい知っているかお答えください。

「良く知っている」「知っている」「名前は聞いたことがある」を合わせて過半数を超えているのは「塙保己一」で、92.2%に上る。石川三四郎・木村九蔵・佐藤虎次郎・庄田門弥・諸井恒平は「知らない」が過半数を超えているが、その中でも石川三四郎が比較的「知っている」「名前は聞いたことがある」の割合が高い。



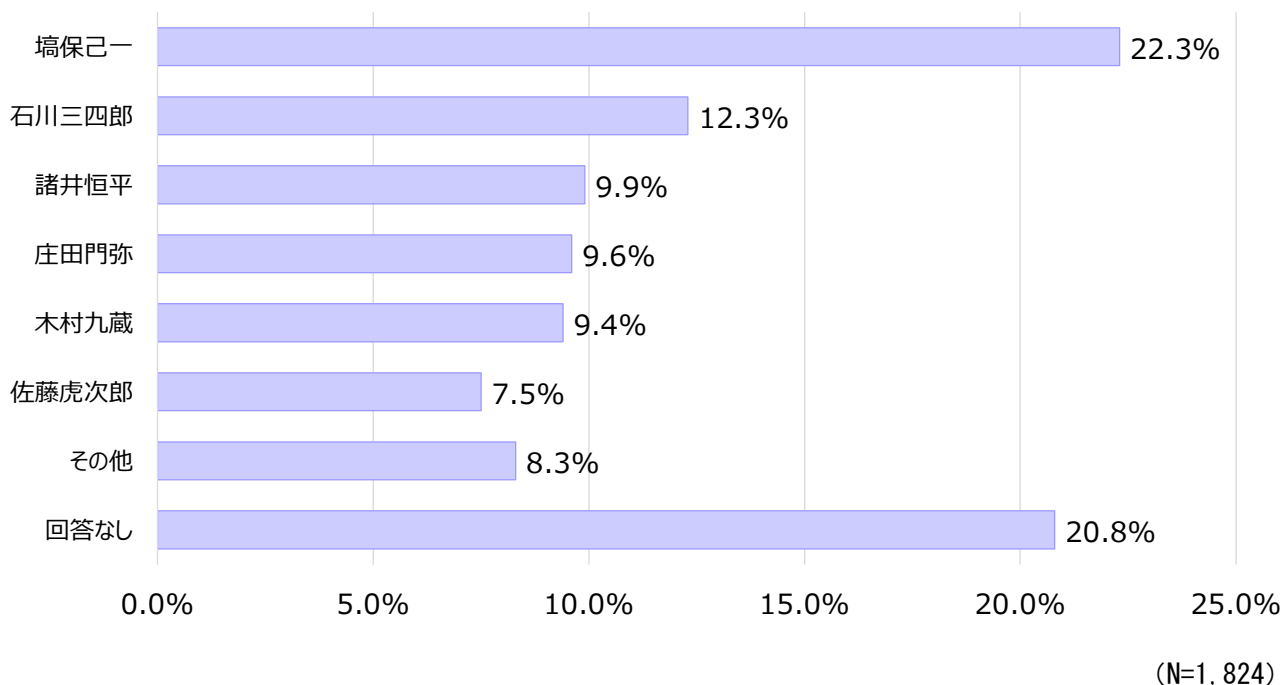
(各著名人毎にN=1,194)



**【問26】 講座や展示があれば学んでみたい本庄市にゆかりのある著名人は次の内どなたですか。**

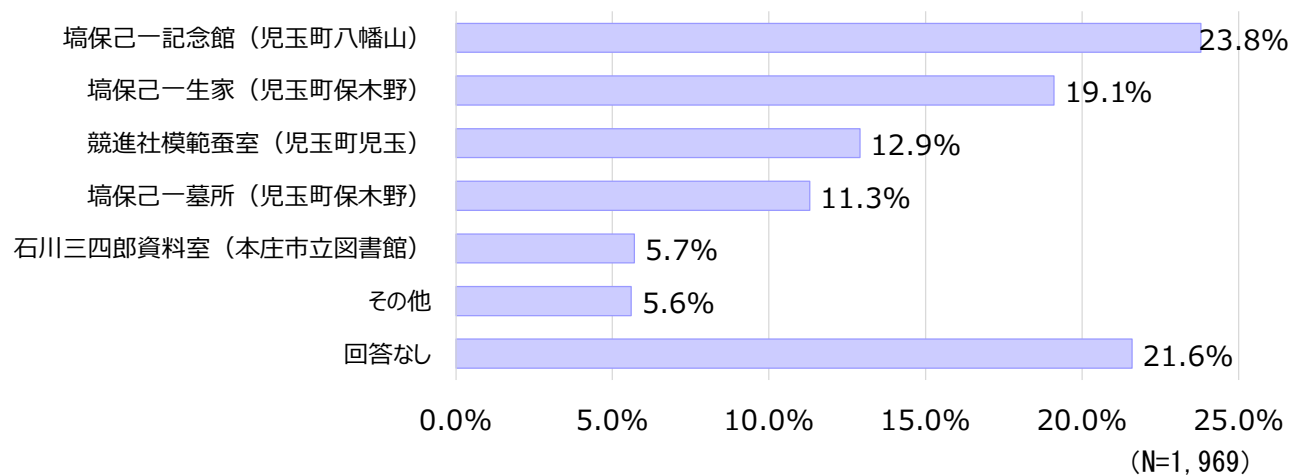
(複数選択可)

「塙保己一」が22.3%で最も多く、次いで「石川三四郎」が12.3%となっている。それ以外は、10%以下となっている。



**【問27】 著名人等にゆかりのある場所に行ったことがありますか。(行ったことがある場所を選択)**

「回答なし」を除くと「塙保己一記念館(児玉町八幡山)」が最も多く23.8%、次いで「塙保己一生涯(児玉町保木野)」が19.1%となっている。



**【問28】本庄市の生涯学習推進に対する要望や改善点、その他ご意見などがあれば自由にお書きください。（自由記述）**

総記入件数：275件（うち、「特になし」という趣旨の回答：25件）

**[主な意見・多かった意見の抜粋]**

- ・「生涯学習」についての意見  
言葉自体を知らなかった／一部の人のためのもののような印象がある／名称がややかたいイメージがあり分かりづらいので変更した方が良い 等
- ・学習の手段・場所・時間・学習機会の提供方法についての意見  
オンラインによる講座を充実させてほしい／テレビ局等のメディアとの連携／土日や夜間の時間帯で開催してほしい／交通手段がないため出前講座をしてほしい
- ・講座内容等に関する希望  
社会問題(高齢者、児童虐待等)／健康づくり／歴史／郷土の歴史／自然／語学／趣味／産業／就労・セカンドキャリアに向けての資格取得／災害時／礼儀作法／ゆかりのある著名人(埴保己一, 木村九蔵, 庄田門弥等)／史跡・文化財／知識や資格を有した著名人を講師とした講座／市内の豊かな人材を講師とした講座／若い世代や子育て世代が興味を持つ講座 等
- ・情報発信・提供についての意見  
発信力の弱さの指摘／パンフレット等をコンビニやスーパー等の身近な店舗に／街角へのポスターの掲示 等
- ・関心があっても学習できない理由  
決まった(まとまった)時間を確保できない／会場へ行けない／1人で参加しづらい(仕事・介護・健康等の理由によって時間がない、金銭的な都合がつかない、仲間がいない等)
- ・公民館について  
誰でも集まれるよう居心地の良い空間に整えて欲しい 等
- ・アンケートについて  
アンケートに回答したことで生涯学習に興味を持つことが出来た／市の事業を周知する良い機会となる／インターネットを用いたアンケートを実施すべき 等
- ・他の市町村・企業等との協力に関する要望
- ・生涯学習に関心がない

## 資料2 本庄市社会教育委員設置条例

平成18年1月10日

条例第86号

(設置)

第1条 社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条第1項の規定に基づき、本庄市社会教育委員（以下「委員」という。）を置く。

(委員の委嘱)

第2条 委員は、次に掲げる者のうちから本庄市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 識見を有する者

(委員の定数)

第3条 委員の定数は、20人以内とする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。

- 2 教育委員会は、任期中において特別な事情があるときは、委員の委嘱を解くことができる。
- 3 委員に欠員が生じたときは、補欠委員を委嘱する。
- 4 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員の職務)

第5条 委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

- (1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。
  - (2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じこれに対して意見を述べること。
  - (3) 前2号の職務を行うために必要な調査研究を行うこと。
- 2 委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関して意見を述べることができる。
  - 3 委員は、教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

(委任)

第6条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、平成18年1月10日から施行する。

### 資料3 社会教育委員名簿

任期：令和4年8月1日～令和6年7月31日

	職名	氏名	選出区分	備考
1	委員長	井上 健治	社会教育の関係者	
2	副委員長	芦澤 吉一	家庭教育の向上に資する者	
3	委員	西田 真吾	学校教育の関係者	任期：令和4年8月1日～
		駒木野 昌代		任期：令和5年7月1日～
4	委員	櫻井 克彦	学校教育の関係者	
5	委員	荻野 修一	社会教育の関係者	任期：令和4年8月1日～
		中村 幸司		任期：令和5年7月1日～
6	委員	明堂 純子	社会教育の関係者	
7	委員	大塚 進	社会教育の関係者	
8	委員	岩崎 信裕	社会教育の関係者	
9	委員	木村 登志男	社会教育の関係者	
10	委員	都丸 幸子	家庭教育の向上に資する者	
11	委員	田邊 晶子	家庭教育の向上に資する者	
12	委員	内田 英亮	識見を有する者	
13	委員	早野 清	識見を有する者	
14	委員	深澤 茂実	識見を有する者	任期：令和4年8月1日～
		小暮 孝志		任期：令和5年7月1日～
15	委員	秋山 みち子	識見を有する者	
16	委員	田村 英司	識見を有する者（公募）	
17	委員	笈口 修一	識見を有する者（公募）	
18	委員	長沼 勝正	識見を有する者（公募）	

## 資料4 本庄市生涯学習推進会議要綱

平成18年1月10日

教育委員会告示第6号

(設置)

第1条 本庄市における生涯学習推進方策について、協議するため、本庄市生涯学習推進会議（以下「会議」という）を設置する。

(所掌事務)

第2条 会議は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 本庄市の実施する生涯学習関連施策の推進に関すること。
- (2) 本庄市の生涯学習推進に関する総合調整に関すること。
- (3) 本庄市の生涯学習推進の普及奨励に関すること。
- (4) その他生涯学習推進に関すること。

(構成)

第3条 会議は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 識見を有する者
- (2) 行政関係者
- (3) 教育関係者
- (4) 学習団体代表
- (5) 市民代表

2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 会議に議長及び副議長を置き、議長は市長をもって充てる。副議長は委員のうちから議長が指名するものを充てる。

(会議)

第4条 議長は、会議を招集し、主宰する。

2 副議長は議長を補佐し、議長に事故があるときは、その職務を代理する。

3 会議は、委員の2分の1以上が出席しなければ開くことができない。

(調整連絡会議)

第5条 生涯学習事業について協議するため、会議に調整連絡会議（以下「連絡会議」という。）を置く。

2 連絡会議委員は、市の職員のうちから市長が任命する。

3 連絡会議委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の連絡会議委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 連絡会議は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 庁内各課等における生涯学習関連事業の情報交換、総合連携及び調整に関すること。
- (2) 庁内各課等における生涯学習関連事業の調査に関すること。

(3) その他生涯学習の推進に関すること。

5 連絡会議は、副市長が招集し、主宰する。

(庶務)

第6条 会議及び連絡会議の庶務は、教育委員会生涯学習課において処理する。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、議長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成18年1月10日から施行する。

附 則 (平成19年3月28日教委告示第10号)

この要綱は、平成19年4月1日から施行する。

## 資料5 本庄市生涯学習推進会議委員名簿

任期：令和4年10月1日～令和6年9月30日

	氏名	選出区分	所属団体	備考
1	吉田 信解	行政関係者	市長	
2	雉岡 恵一	識見を有する者	本庄市文化財保護審議会	
3	芦澤 吉一	識見を有する者	本庄市社会教育委員	
4	櫻井 紀吉子	識見を有する者	本庄市公民館運営審議会	
5	下野戸 陽子	行政関係者	本庄市教育委員会教育長	
6	諏訪 慎一	教育関係者	本庄市小・中学校長会	任期：令和4年10月1日～
	西田 真吾			任期：令和5年7月1日～
7	山崎 育樹	教育関係者	本庄市小・中学校長会	
8	松本 英和	教育関係者	高等学校長（本庄高等学校）	
9	門倉 道雄	学習団体代表	本庄市スポーツ協会	
10	堀込 昭夫	学習団体代表	本庄市レクリエーション協会	
11	立花 勲	学習団体代表	本庄市文化団体連合会	
12	坂上 信子	学習団体代表	サラ本庄	
13	須藤 成光	学習団体代表	本庄市老人クラブ連合会	
14	凶師 喜恵	学習団体代表	本庄市立図書館協議会	
15	吉田 稔	市民代表	本庄市自治会連合会	任期：令和4年10月1日～
	河田 文雄			任期：令和5年7月1日～
16	大山 美佐保	市民代表	本庄市コミュニティ協議会	
17	我妻 清美	市民代表	本庄市食生活改善推進員協議会	
18	石原 寿美恵	市民代表	本庄市青少年育成市民会議	
19	笈口 修一	市民代表	公募	



## 資料6 策定経過

令和4年10月7日 本庄市社会教育委員会議  
第2次本庄市生涯学習推進指針策定のためのアンケート（案）について

令和4年10月19日 本庄市生涯学習推進会議  
第2次本庄市生涯学習推進指針策定のためのアンケート（案）について

令和5年7月11日 本庄市社会教育委員会議  
第2次本庄市生涯学習推進指針策定のためのアンケート結果について  
第2次本庄市生涯学習推進指針の素案について

令和5年7月26日 本庄市生涯学習推進会議  
第2次本庄市生涯学習推進指針策定のためのアンケート結果について  
第2次本庄市生涯学習推進指針の素案について

令和5年9月26日 本庄市生涯学習推進会議  
第2次本庄市生涯学習推進指針（案）について

令和5年10月4日 本庄市社会教育委員  
第2次本庄市生涯学習推進指針（案）について

